

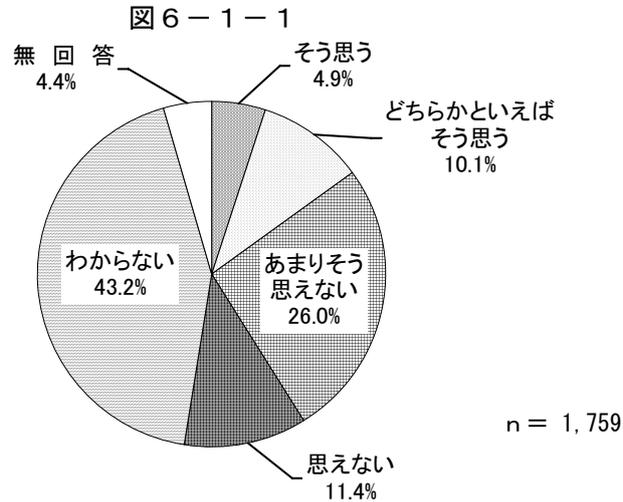
第2章

6. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 市民協働の推進状況

◇『そう思う』が1割台半ばにとどまる

問17 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。(○は1つだけ)

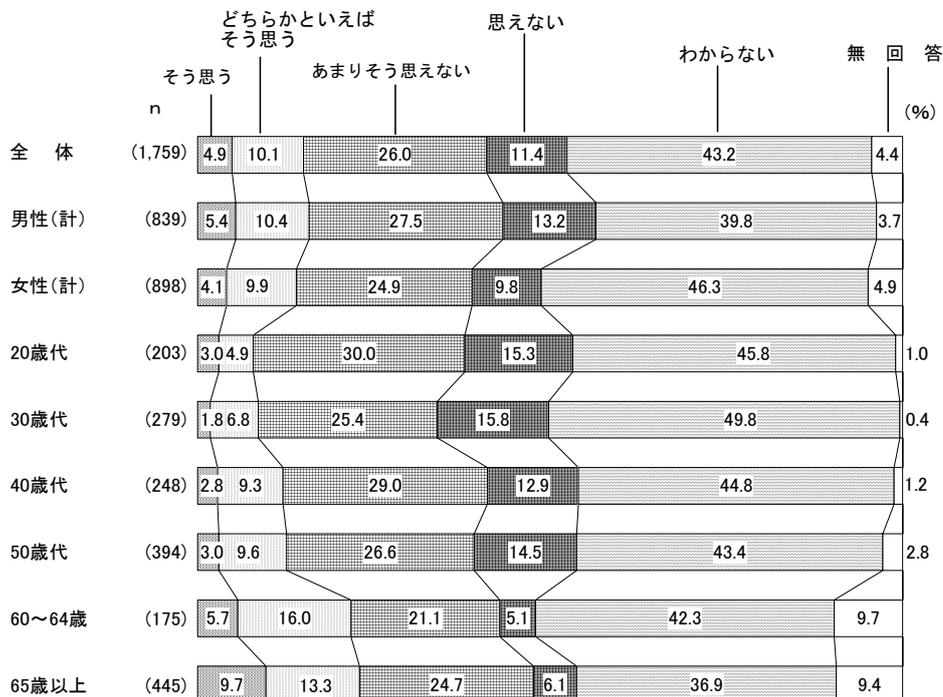


市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうかについて聞いたところ、「そう思う」は4.9%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(10.1%)と合わせた『そう思う』は1割台半ば(15.0%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(26.0%)と「思えない」(11.4%)を合わせた『思えない』は4割弱(37.4%)となっている。(図6-1-1)

性別にみると、「思えない」は男性のほうが3.4ポイント高く、「わからない」は女性の方が6.5ポイント高い。

年齢別にみると、『そう思う』は60歳以上で2割を超え、高くなっている。(図6-1-2)

図6-1-2 市民協働の推進状況—性別・年齢別

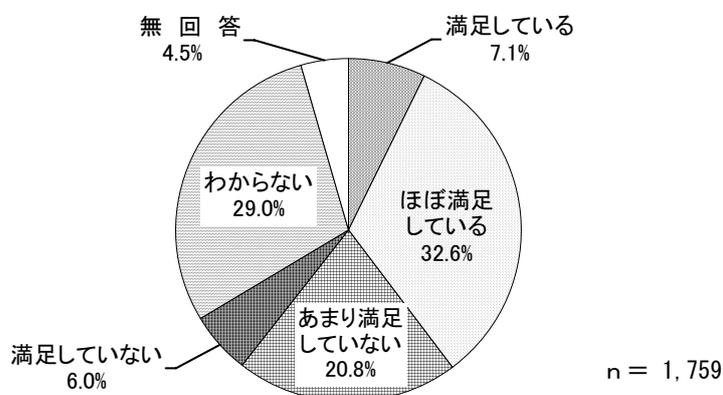


6-2 現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足』は4割弱、『満足していない』は2割台半ば

問 18 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

図 6-2-1

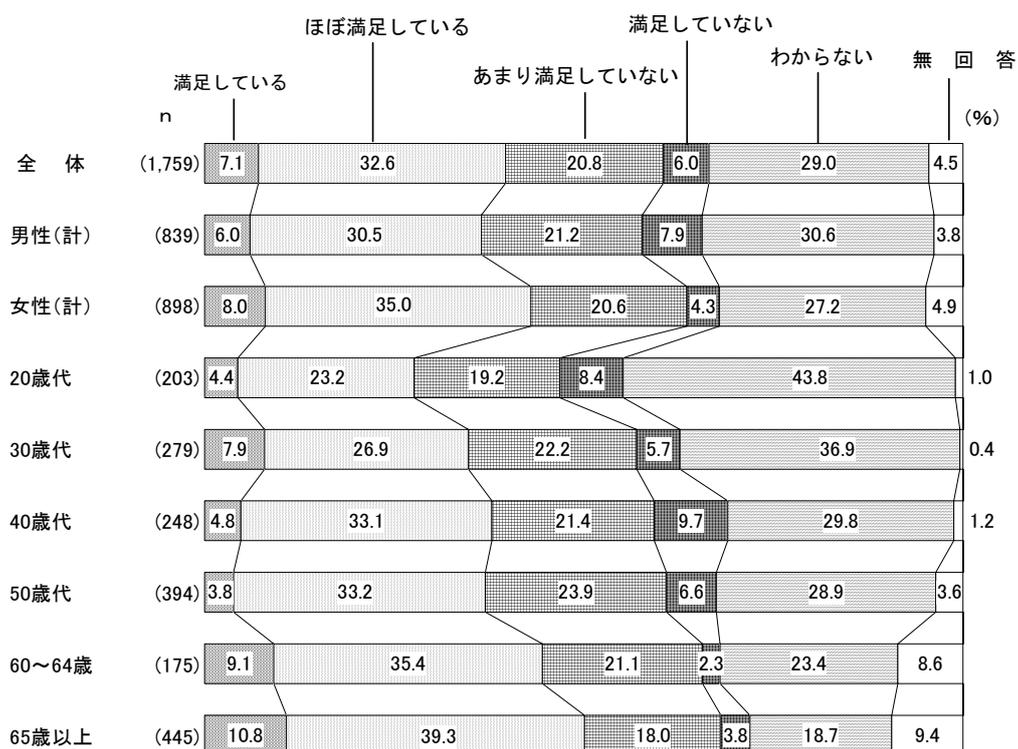


市政情報の入手方法の満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」は3割強(32.6%)と最も高く、「満足している」(7.1%)と合わせた『満足』は4割弱(39.7%)となっている。一方、「あまり満足していない」(20.8%)と「満足していない」(6.0%)を合わせた『満足していない』は2割台半ば(26.8%)となっている。(図6-2-1)

性別にみると、『満足している』は女性の方が6.5ポイント高くなっている。

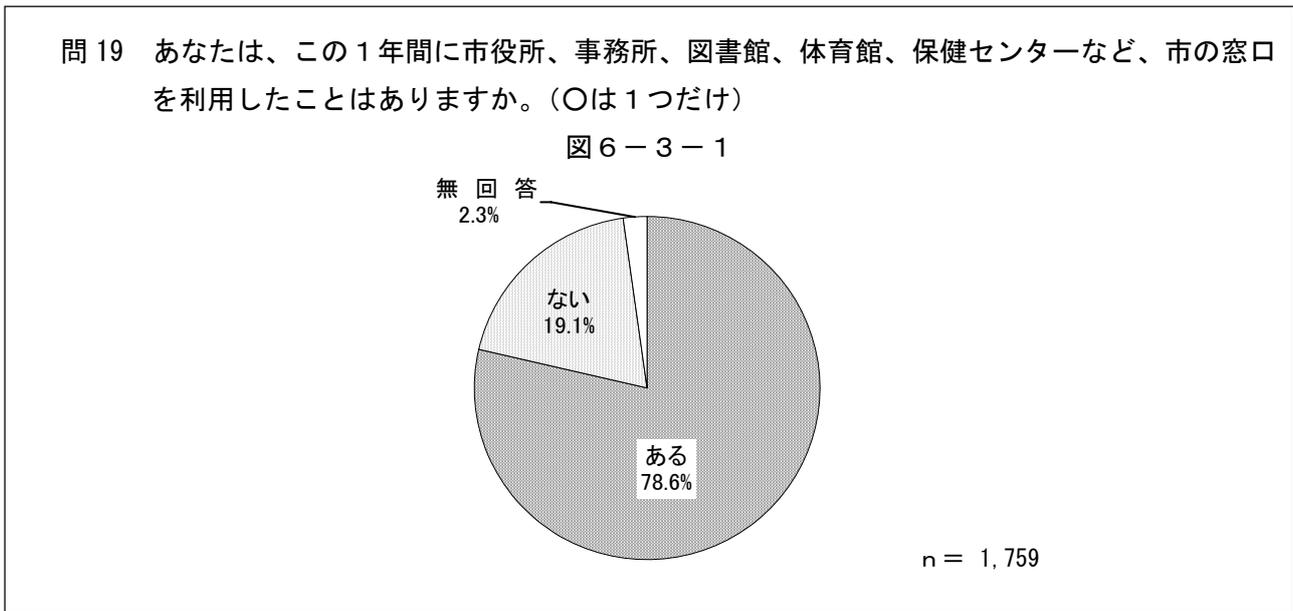
年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上では5割を超え、高くなっている。また、「わからない」では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代では4割を超え(43.8%)、高くなっている。(図6-2-2)

図 6-2-2 現在の市政情報入手方法の満足度—性別・年齢別



6-3 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は8割近くと突出している



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は8割近く(78.6%)で、「ない」(19.1%)を大きく上回っている。

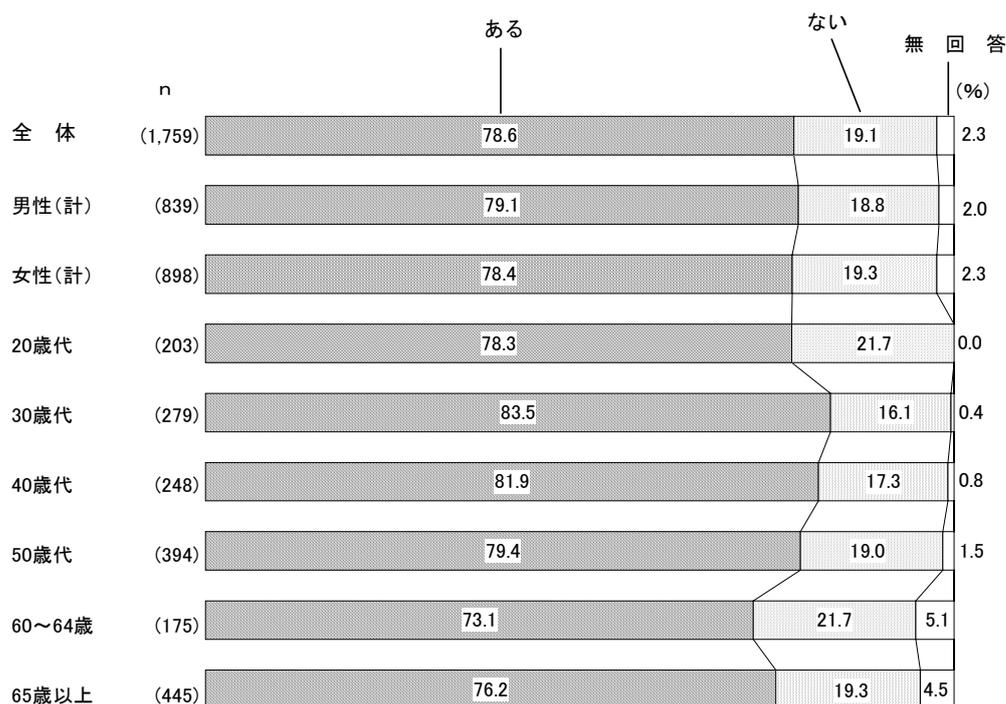
(図6-3-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「ある」は30歳代(83.5%)と40歳代(81.9%)で、8割を超えている。

(図6-3-2)

図6-3-2 市の窓口の利用の有無-性別・年齢別



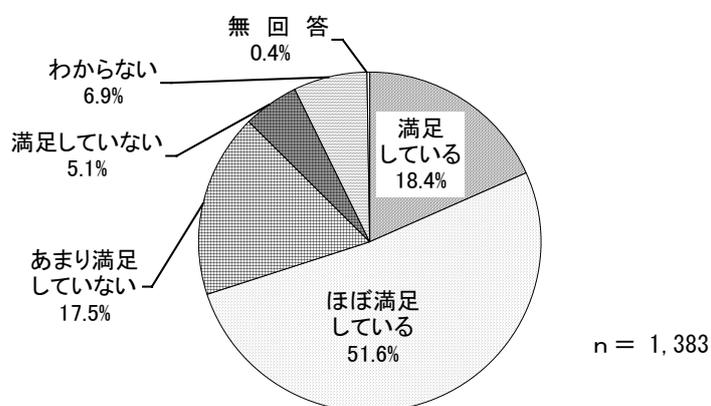
6-4 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割を占める

(問19で「1 ある」とお答えの方に)

問19-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。(○は1つだけ)

図6-4-1

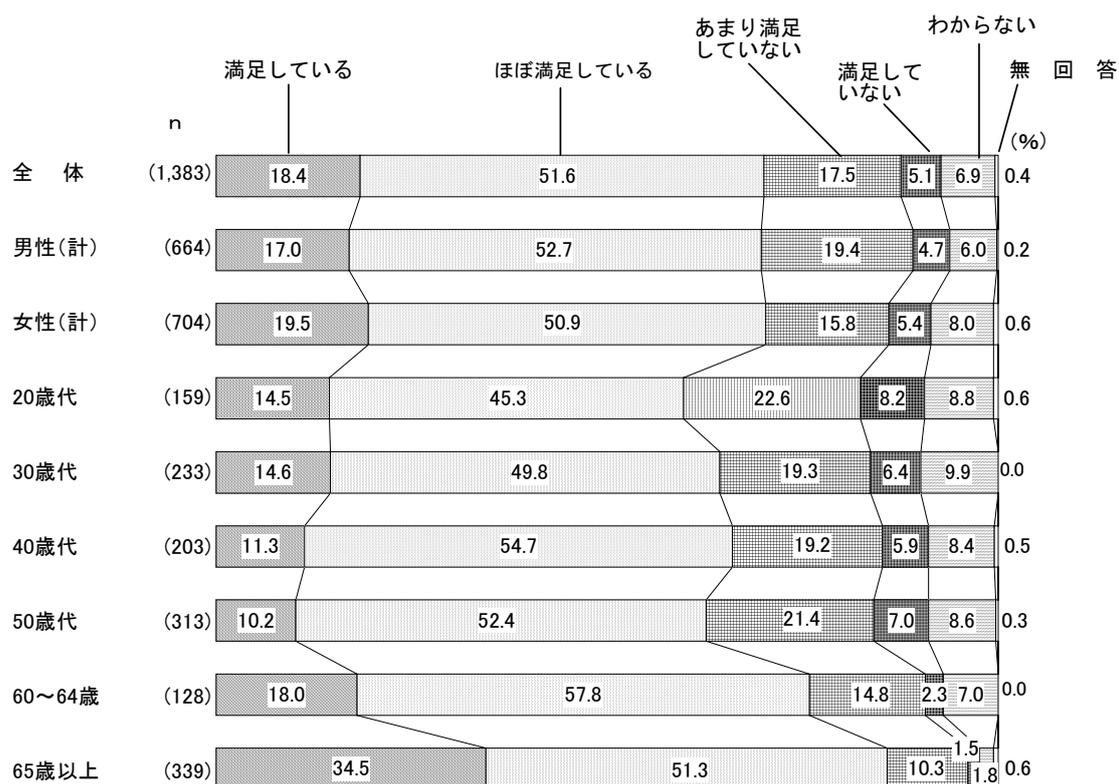


この一年間で市の窓口の利用が「ある」(1,383人)と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が5割強(51.6%)と最も高く、「満足している」(18.4%)と合わせた『満足』は7割(70.0%)となっている。「あまり満足していない」(17.5%)と「満足していない」(5.1%)を合わせた『満足していない』は2割強(22.6%)となっている。(図6-4-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上の年代で8割台半ば(85.8%)を占め、高くなっている。(図6-4-2)

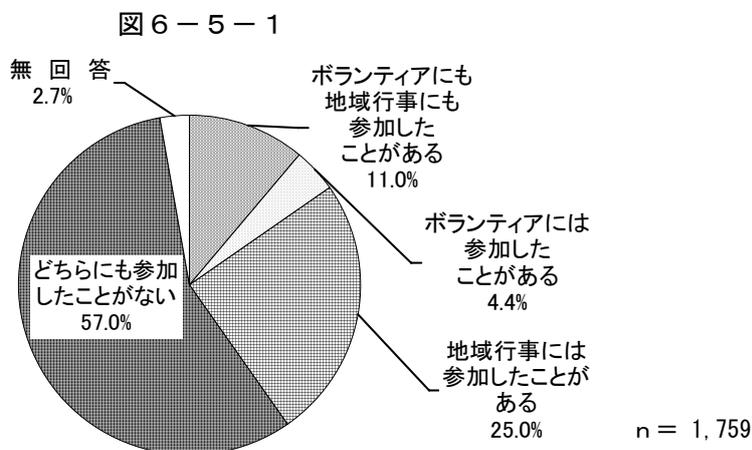
図6-4-2 市の窓口サービスの満足度—性別・年齢別



6-5 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割

問20 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(○は1つだけ)



この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」は2割台半ば(25.0%)、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(11.0%)、「ボランティアには参加したことがある」(4.4%)と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割(40.4%)となっている。一方で、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば(57.0%)と半数を占めている。(図6-5-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向にある。

年齢別にみると、『参加したことがある』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上の年代では5割を超え(52.1%)高い。「どちらにも参加したことがない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代では8割を超え(82.3%)高くなっている。(図6-5-2)

居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口(西部地域)で5割近く(48.5%)と高く、「どちらにも参加したことがない」は由木・由木東・南大沢(東部地域)で6割台半ばを超え(68.3%)高くなっている。(図6-5-3)

図 6-5-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別

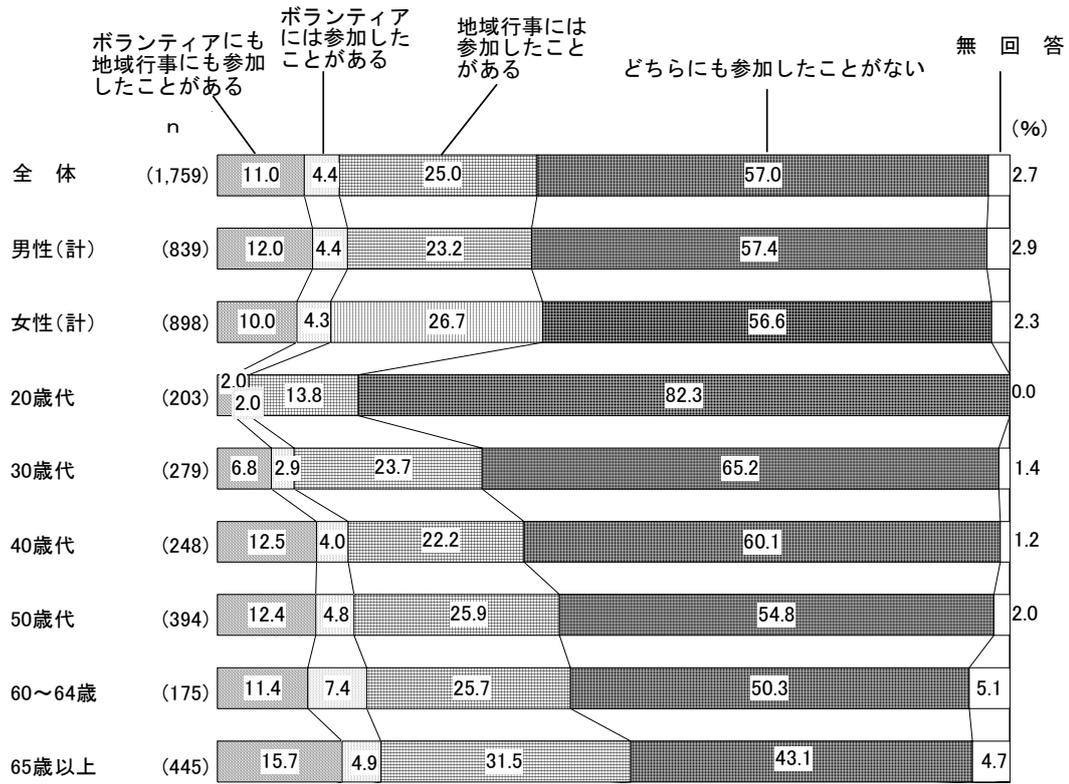
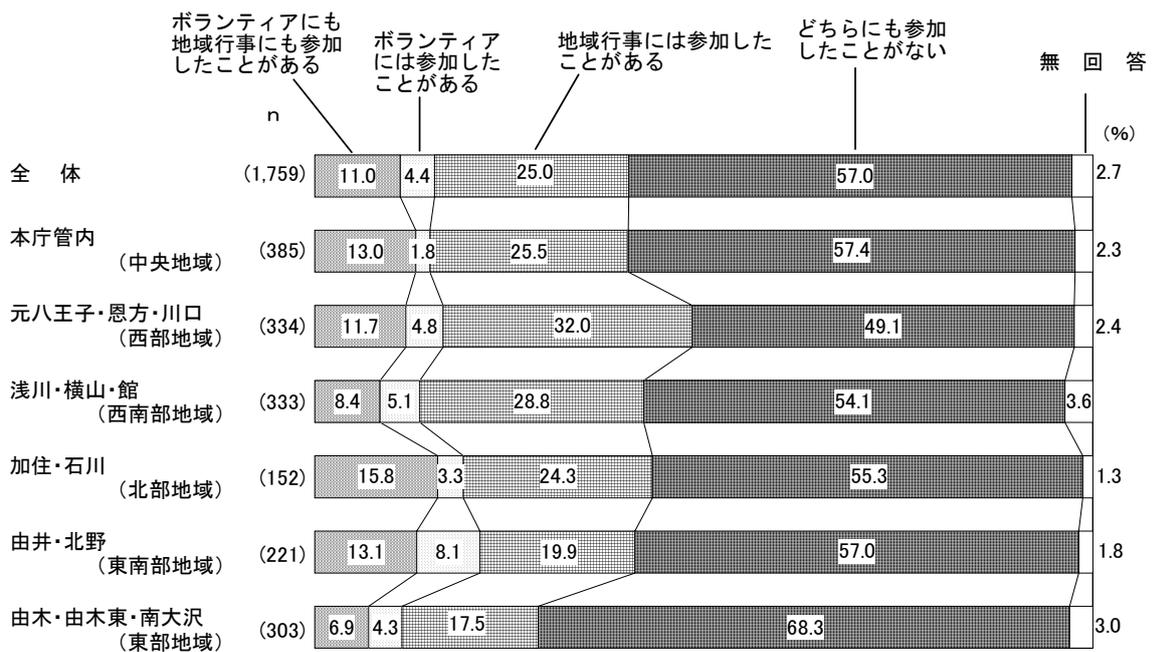


図 6-5-3 この1年間の地域行事への参加—居住地域別

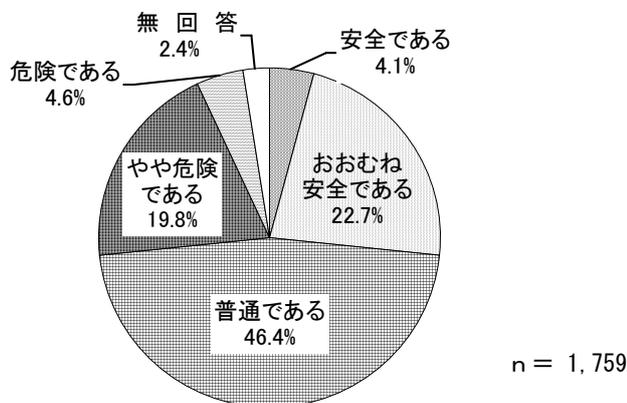


6-6 日常生活環境の安全度

◇「普通である」が4割台半ば、『安全である』が2割台半ば、『危険である』が2割を超える

問21 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全と感じますか。(○は1つだけ)

図6-6-1



住まいの地域が安全であると感じるかどうかについて聞いたところ、「普通である」が4割台半ば(46.4%)と最も高い。「安全である」(4.1%)と「おおむね安全である」(22.7%)を合わせた『安全である』は2割台半ば(26.8%)となっている。「やや危険である」(19.8%)と「危険である」(4.6%)を合わせた『危険である』は2割(24.4%)を超えている。(図6-6-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、『危険である』は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代で3割台半ば(35.5%)となっている。また、「普通である」は65歳以上で5割(54.2%)を超えている。(図6-6-2)

居住地域別にみると、『安全である』は本庁管内(中央地域)で約3割(29.1%)と最も高く、『危険である』は、加住・石川地域(北部地域)で3割台半ば(35.6%)となっている。(図6-6-3)

図 6-6-2 日常生活環境の安全度—性別・年齢別

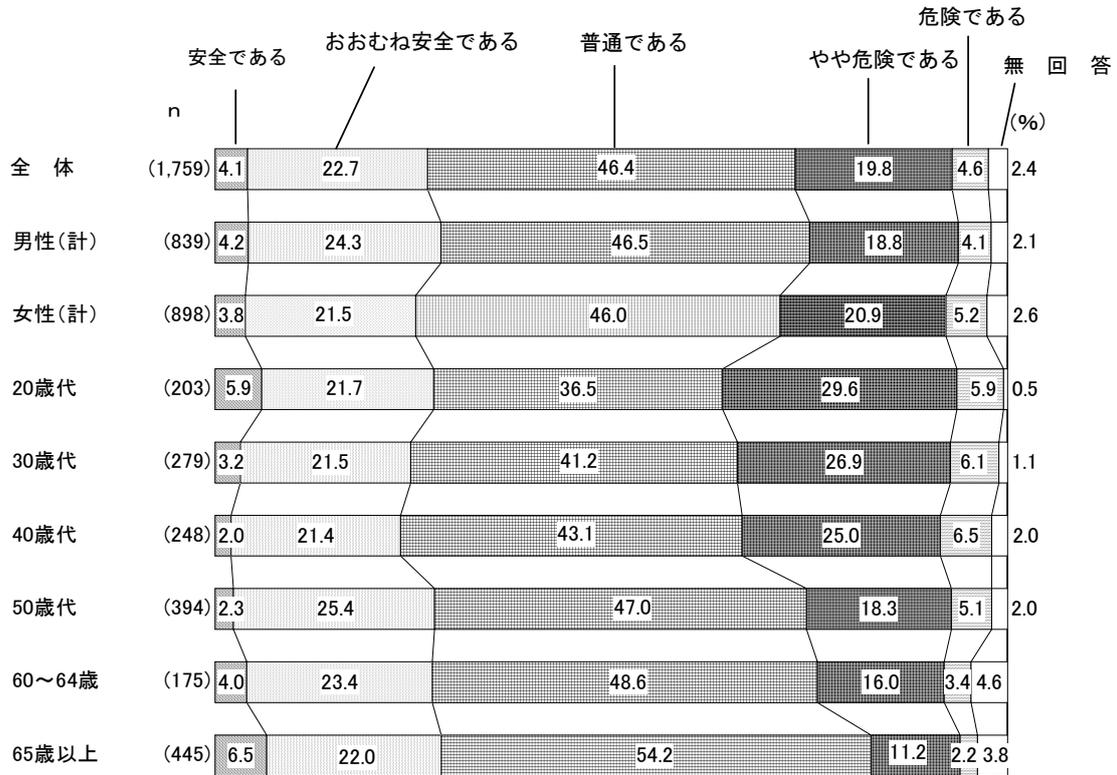
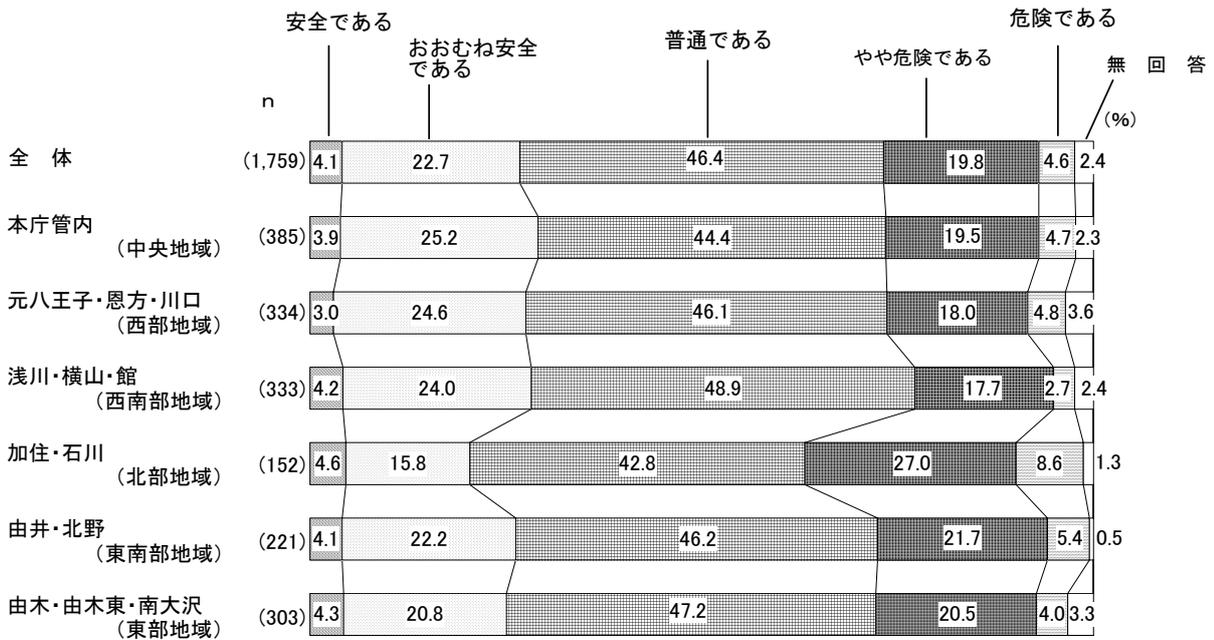


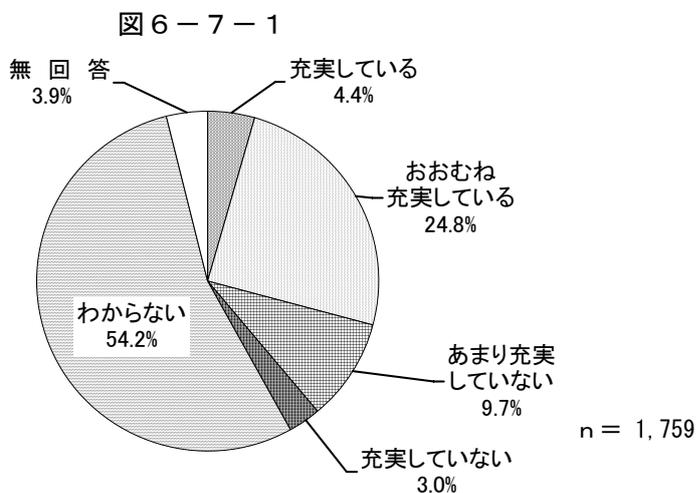
図 6-6-3 日常生活環境の安全度—居住地域別



6-7 市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が約3割、「わからない」が5割台半ば

問 22 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ)



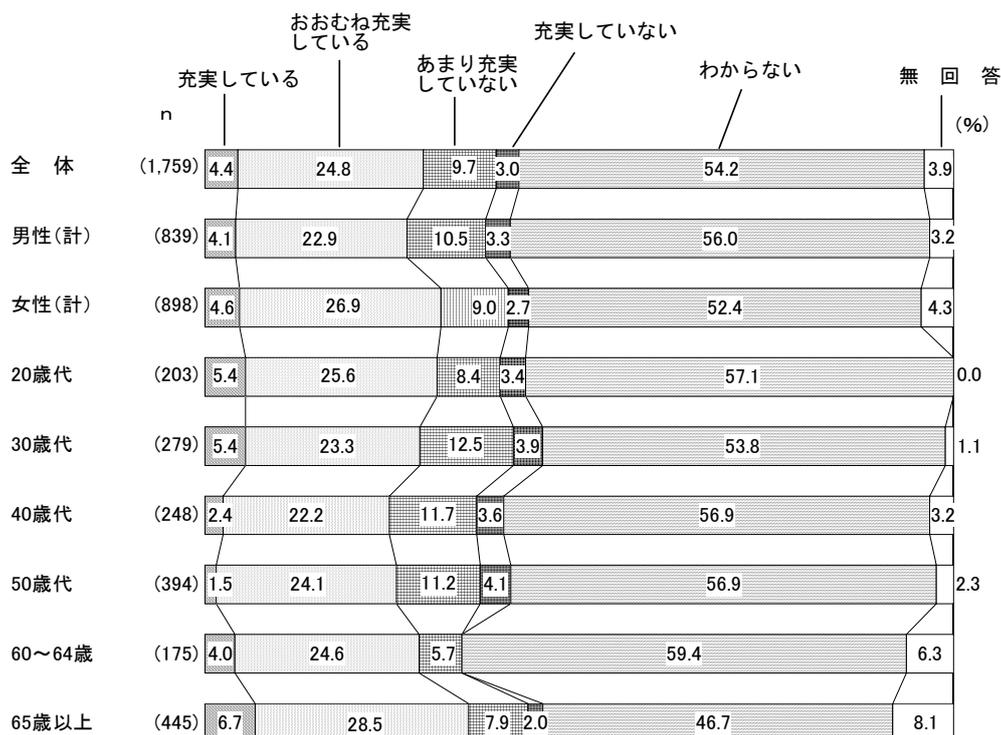
市の相談窓口が充実しているかどうかについて聞いたところ、「おおむね充実している」(24.8%)と「充実している」(4.4%)を合わせた『充実している』は約3割(29.2%)となっている。一方、「あまり充実していない」(9.7%)と「充実していない」(3.0%)を合わせた『充実していない』は1割強(12.7%)となっている。(図6-7-1)

性別にみると、「おおむね充実している」は女性の方が4.0ポイント高い。

年齢別にみると、『充実している』は65歳以上で高く、3割台半ば(35.2%)となっている。

(図6-7-2)

図 6-7-2 市の相談窓口の充実度—性別・年齢別

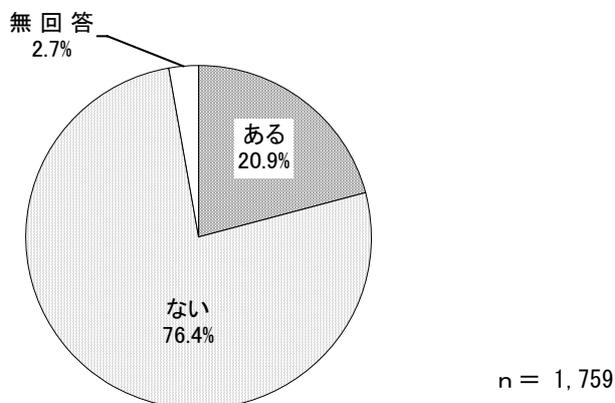


6-8 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は2割強にとどまる

問23 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

図6-8-1

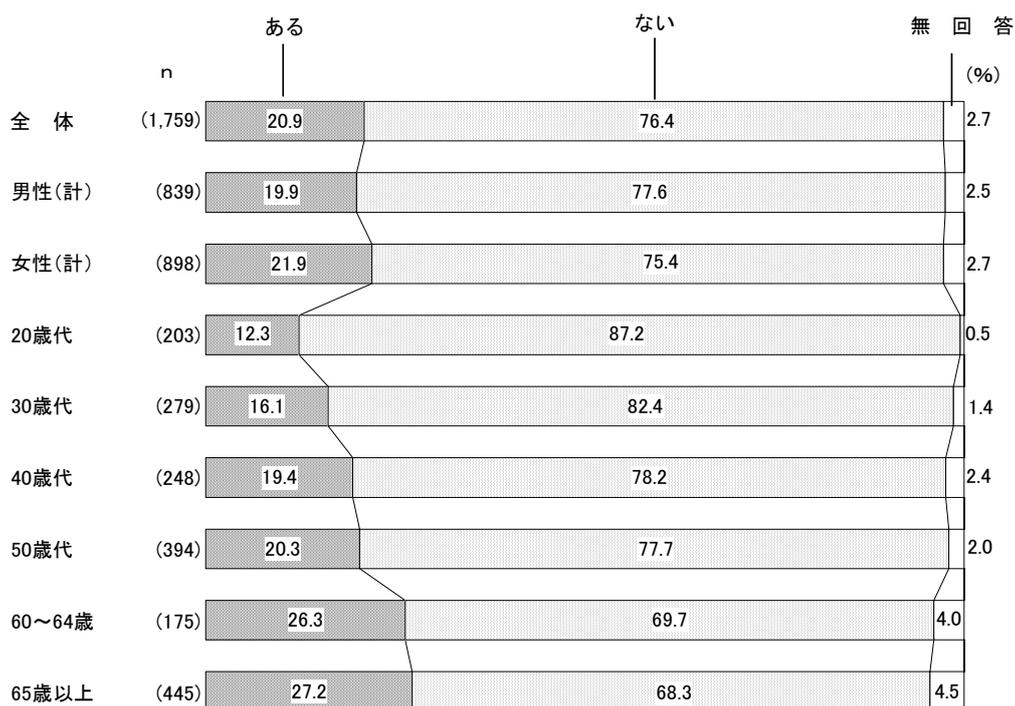


市の相談窓口の利用について聞いたところ、「ある」が2割強(20.9%)、「ない」が7割台半ば(76.4%)となっている。(図6-8-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「ある」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。「ない」は20歳代で8割台半ばを超え(87.2%)、高くなっている。(図6-8-2)

図6-8-2 市の相談窓口の利用の有無一性別・年齢別

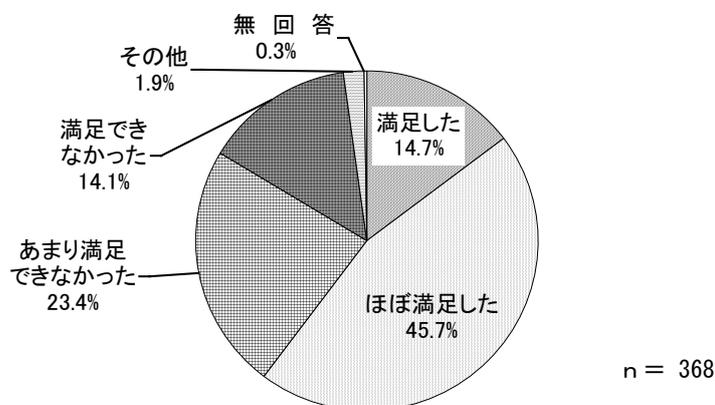


6-9 相談窓口を利用した感想

◇『満足した』が6割を超える

問 23-1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図 6-9-1

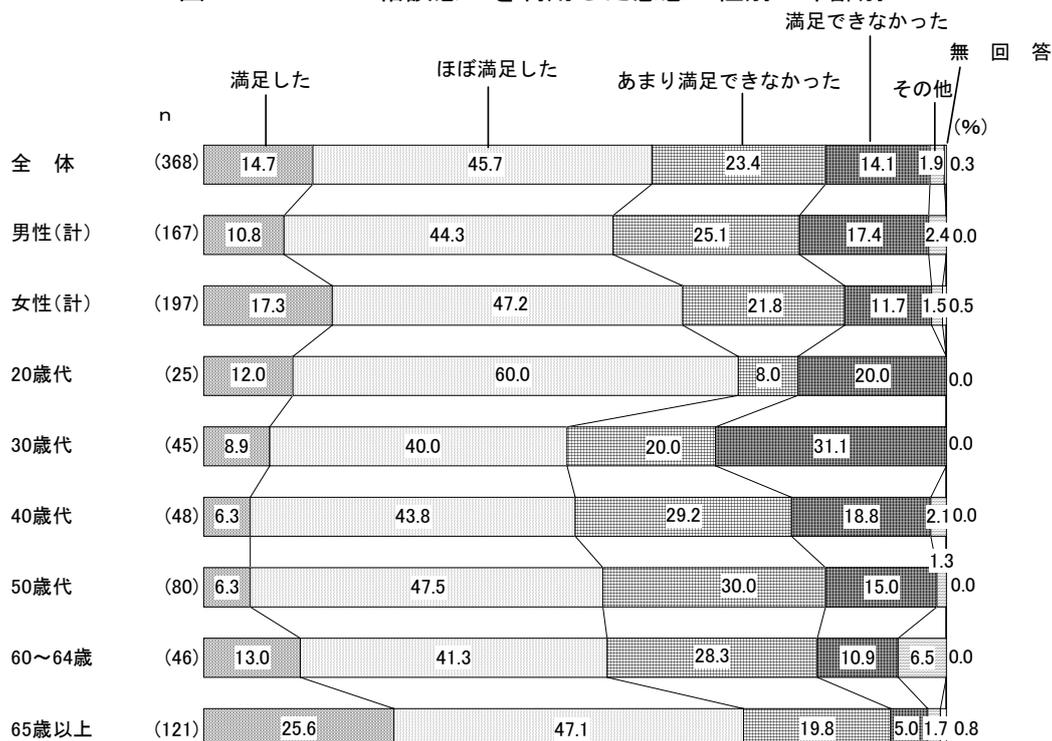


市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(368人)に、市の相談窓口を利用してどう感じましたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が4割台半ば(45.7%)と最も高く、「満足した」(14.7%)と合わせた『満足した』は約6割(60.4%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(23.4%)と「満足できなかった」(14.1%)を合わせた『満足できなかった』は4割弱(37.5%)となっている。(図6-9-1)

性別にみると、「満足した」は女性の方が6.5ポイント高く、『満足した』でも9.4ポイント高い。「満足できなかった」は男性の方が5.7ポイント高く、『満足できなかった』でも9.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』は65歳以上(72.7%)と20歳代(72.0%)で7割を超え、高くなっている。一方、「満足できなかった」は30歳代で3割を超え(31.1%)、『満足できなかった』でも5割を超え(51.1%)、高くなっている。(図6-9-2)

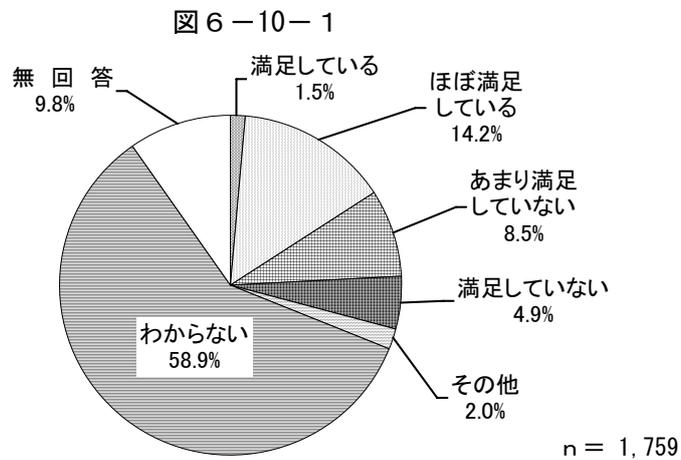
図 6-9-2 相談窓口を利用した感想—性別・年齢別



6-10 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が1割台半ば

問 24 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。
(○は1つだけ)



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(1.5%)と「ほぼ満足している」(14.2%)を合わせた『満足している』は1割台半ば(15.7%)となっている。一方、「あまり満足していない」(8.5%)と「満足していない」(4.9%)を合わせた『満足していない』は1割強(13.4%)となっている。また、「わからない」が6割弱(58.9%)となっている。

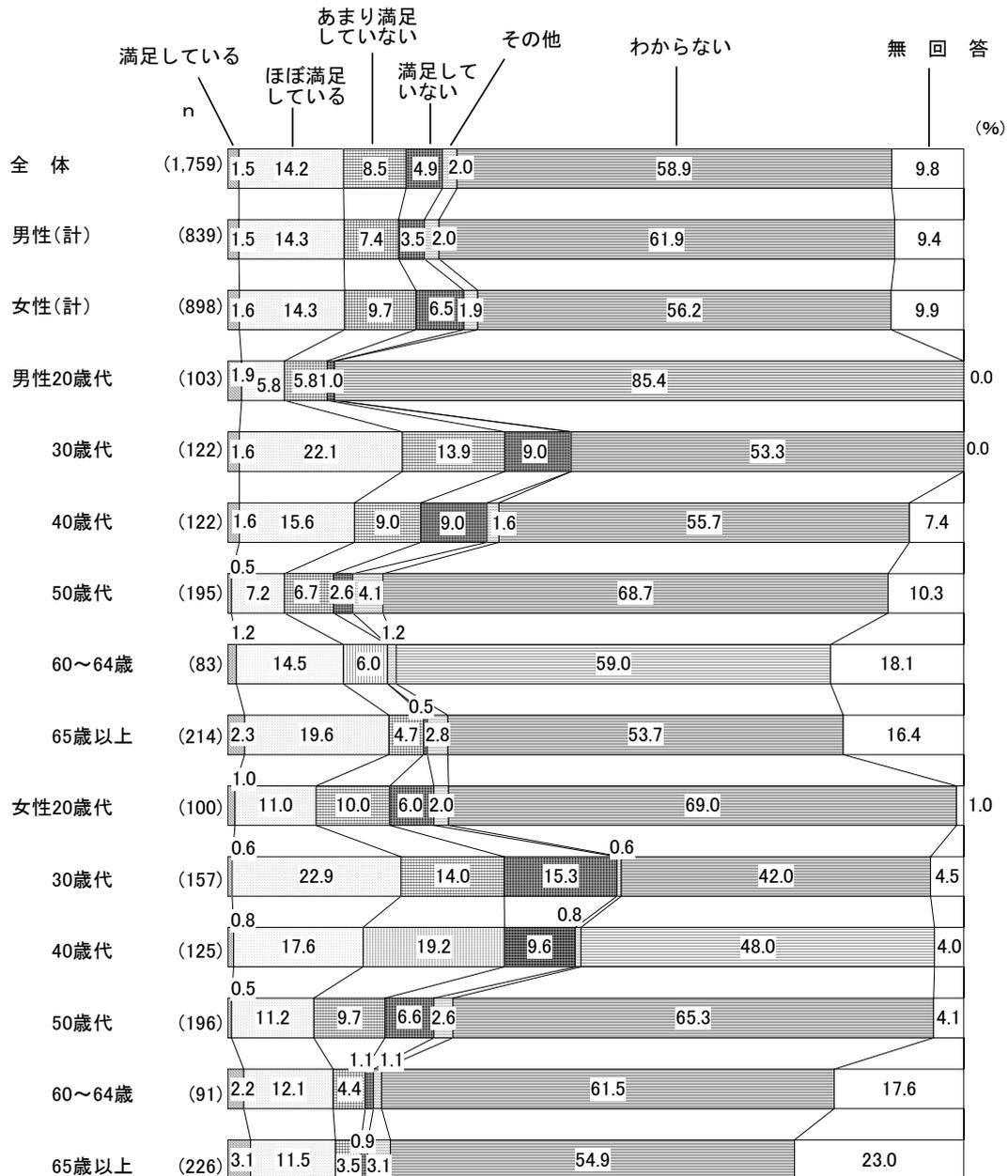
(図 6-10-1)

性別にみると、『満足している』は男女ともほぼ同数であるが、『満足していない』は女性の方が 5.3 ポイント高い。

性・年齢別にみると、『満足していない』は女性の 30 歳代 (29.3%) と 40 歳代 (28.8%) で 3 割近くと高くなっている。「わからない」は男性の 20 歳代で 8 割台半ば (85.4%) を占め、高くなっている。

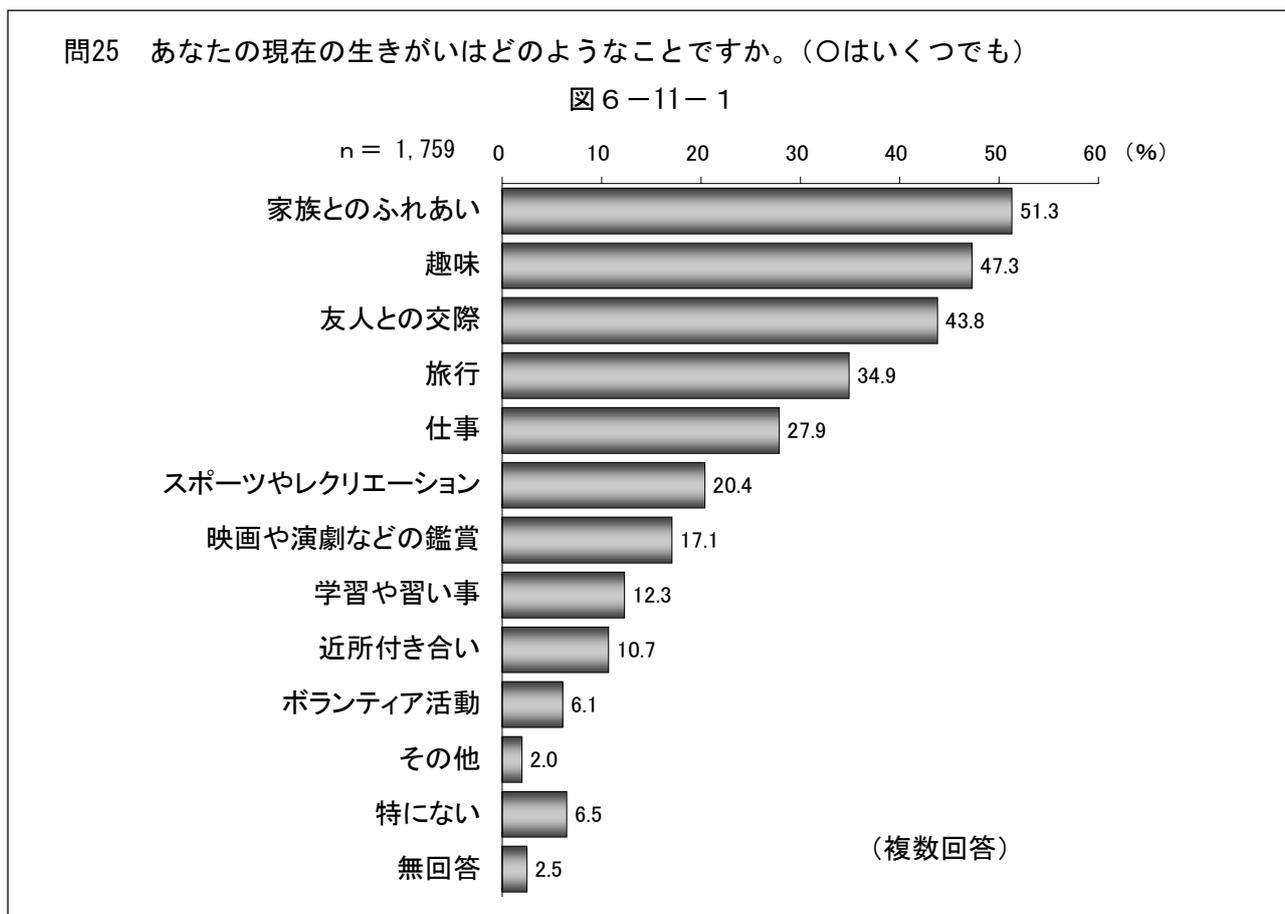
(図 6-10-2)

図 6-10-2 市の子育て支援施策の満足度—性・年齢別



6-11 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割強



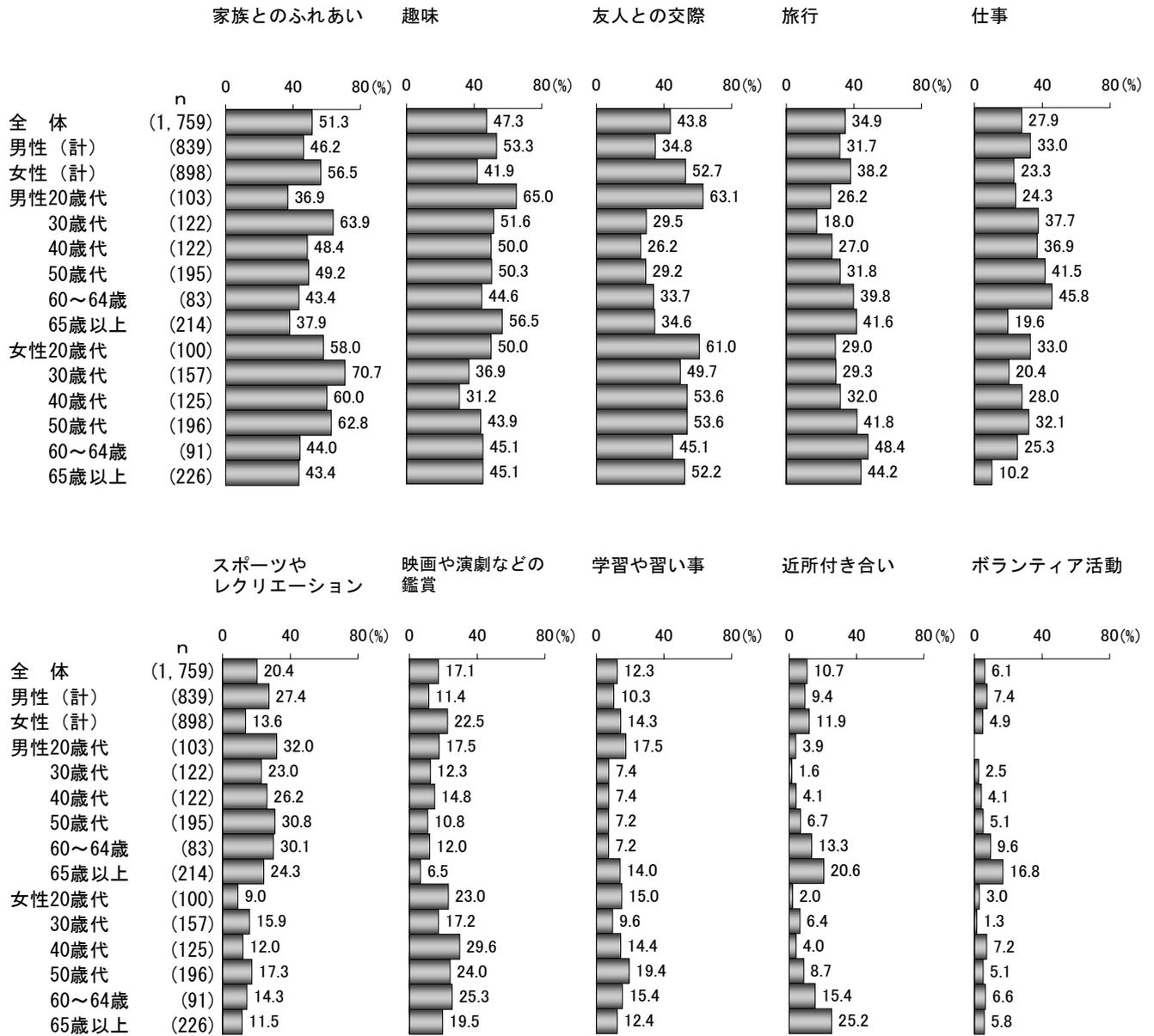
現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割強(51.3%)と最も高く、ついで「趣味」(47.3%)、友人との交際(43.8%)、「旅行」(34.9%)、「仕事」(27.9%)と続いている。

(図6-11-1)

上位10項目を性別にみると、女性の方が「友人との交際」は17.9ポイント、「映画や演劇などの鑑賞」は11.1ポイント、「家族とのふれあい」は10.3ポイント高い。一方、男性は、「スポーツやレクリエーション」は13.8ポイント、「趣味」は11.4ポイント、「仕事」は9.7ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代で7割を占め(70.7%)高く、「趣味」は男性の20歳代で6割台半ば(65.0%)と高い。「友人との交際」は男性と女性の20歳代でそれぞれ6割を超えて高く、「旅行」は女性の60～64歳で4割台半ばを超え(48.4%)高い。「仕事」は男性の50歳代と60～64歳で4割を超え高く、「スポーツやレクリエーション」は男性の20歳代、50歳代、60～64歳で3割を超え高い。「近所付き合い」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上は男女ともに2割を超え、高くなっている。(図6-11-2)

図6-11-2 現在の生きがい一性・年齢別（上位10項目）

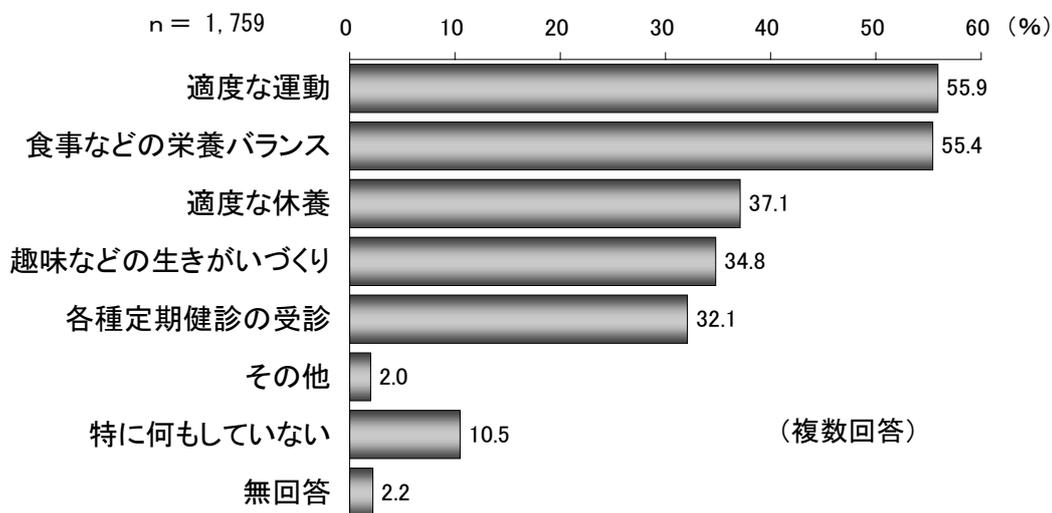


6-12 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」と「食事などの栄養バランス」の二項目が5割台半ば

問26 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
(○はいくつでも)

図6-12-1

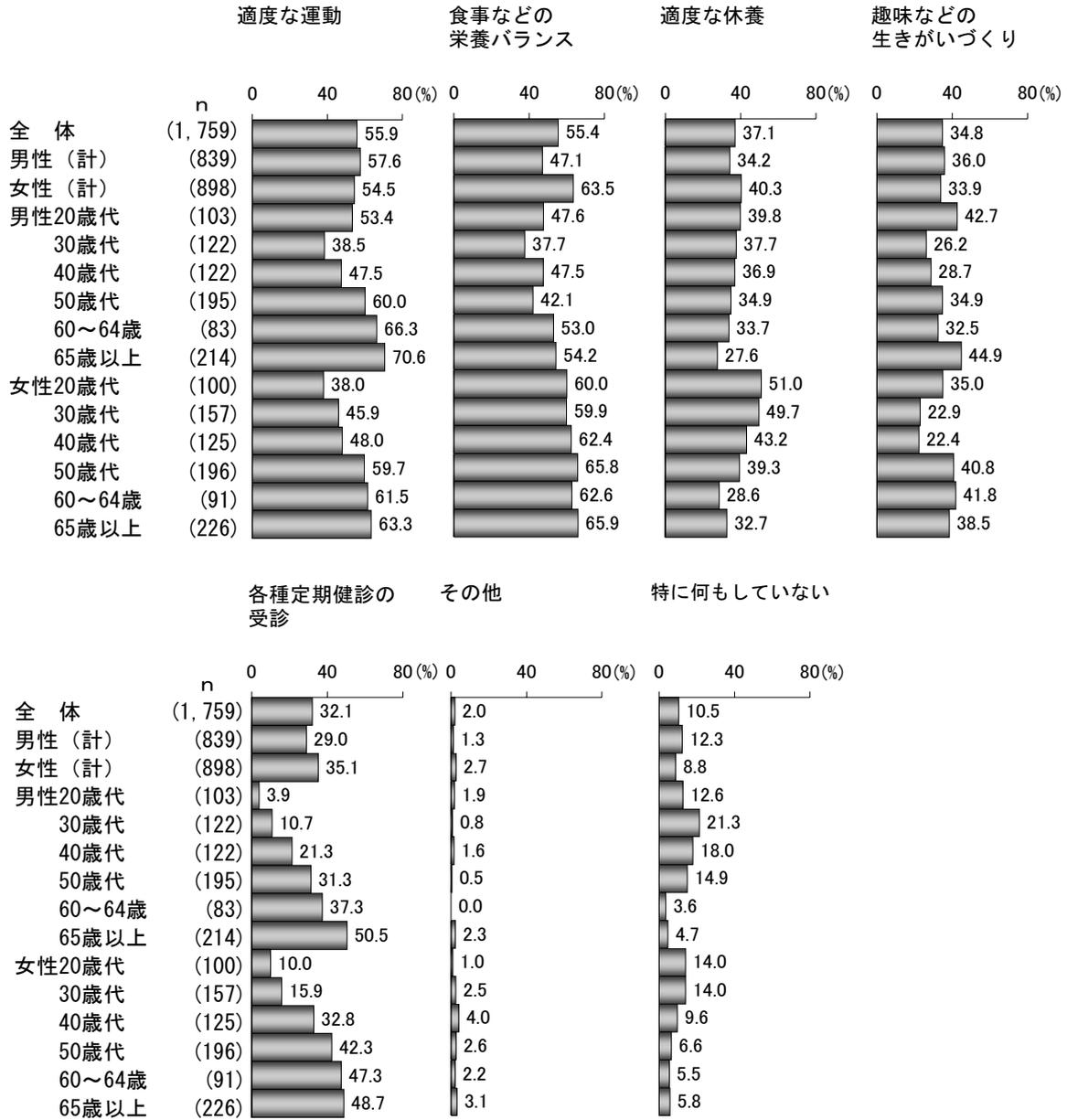


健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」が5割台半ば(55.9%)と最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(55.4%)、「適度な休養」(37.1%)と続いている。(図6-12-1)

性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性の方が16.4ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「適度な運動」は男性の65歳以上で7割(70.6%)と高く、また男女とも高い年代ほど割合が高くなっている。「食事などの栄養バランス」は、女性の50歳代と65歳以上で6割台半ばと高くなっている。「適度な休養」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、また女性の20歳代は5割を超え(51.0%)高い。「特に何もしていない」は男性の30歳代で2割を超え(21.3%)高くなっている。(図6-12-2)

図6-12-2 健康のために心がけていること一性・年齢別

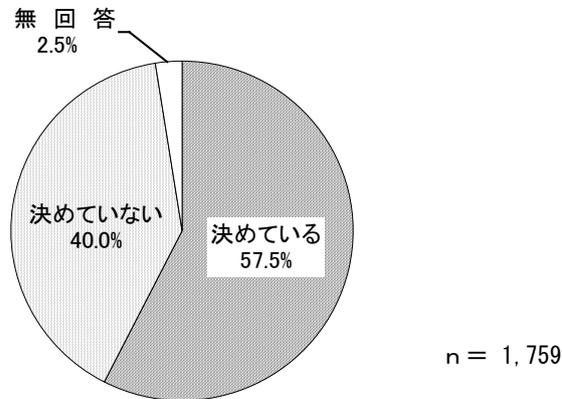


6-13 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」人は6割弱

問27 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

図6-13-1

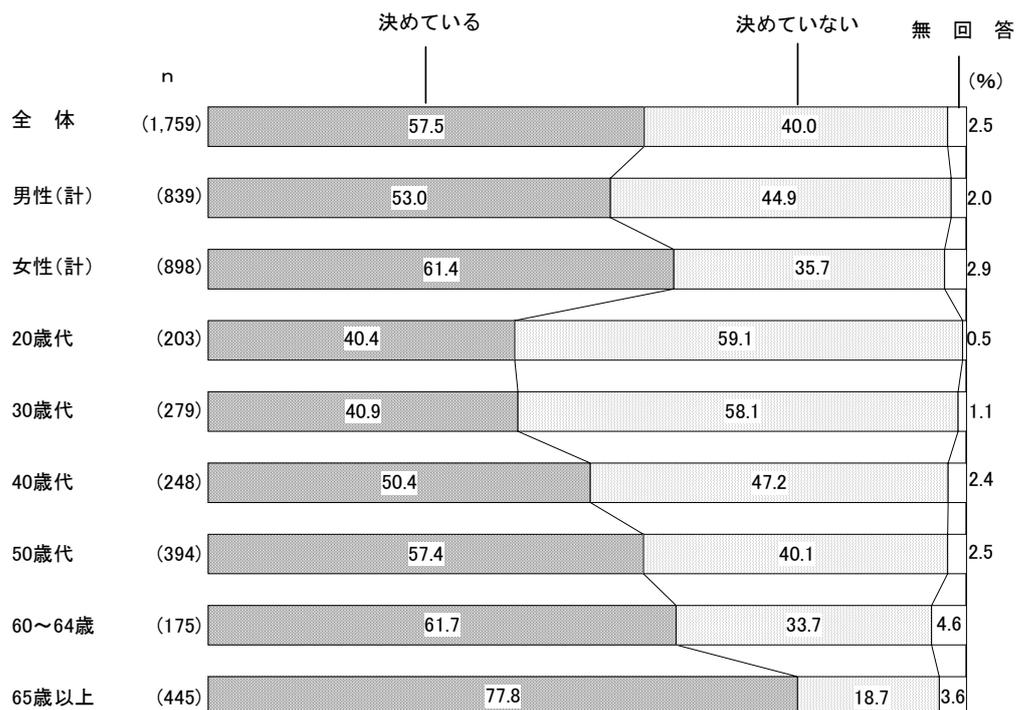


かかりつけの医療機関を決めているかについて聞いたところ、「決めている」が6割弱(57.5%)、「決めていない」が4割(40.0%)となっている。(図6-13-1)

性別にみると、「決めている」は女性の方が8.4ポイント高くなっている。

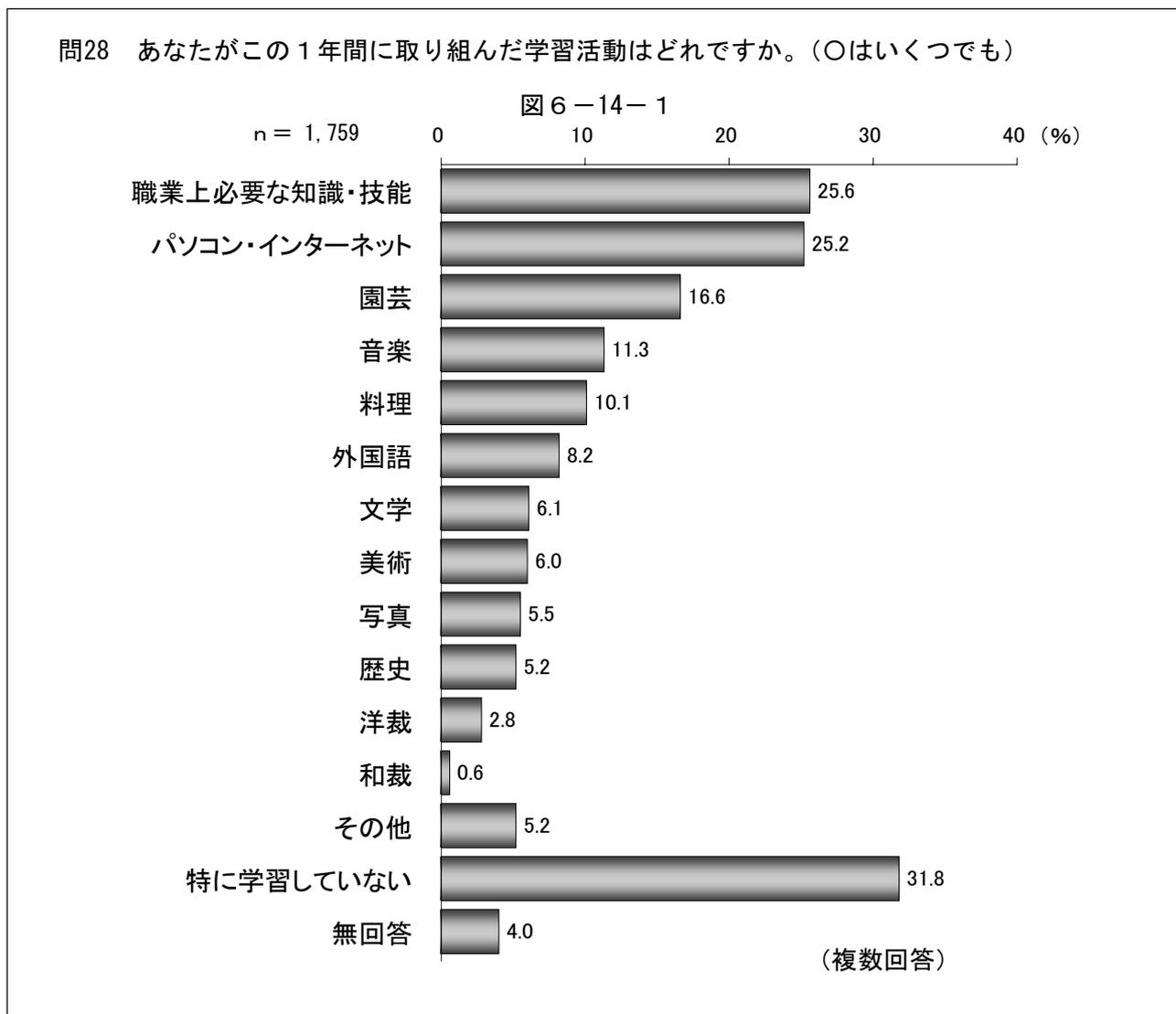
年齢別にみると、「決めている」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上は8割弱(77.8%)で高くなっている。(図6-13-2)

図6-13-2 かかりつけの医療機関の有無一性別・年齢別



6-14 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「職業上必要な知識・技能」と「パソコン・インターネット」の二項目が2割台半ば



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「職業上必要な知識・技能」が2割台半ば(25.6%)と最も高く、ついで「パソコン・インターネット」(25.2%)、「園芸」(16.6%)、「音楽」(11.3%)、「料理」(10.1%)と続いている。また、「特に学習していない」は約3割(31.8%)となっている。

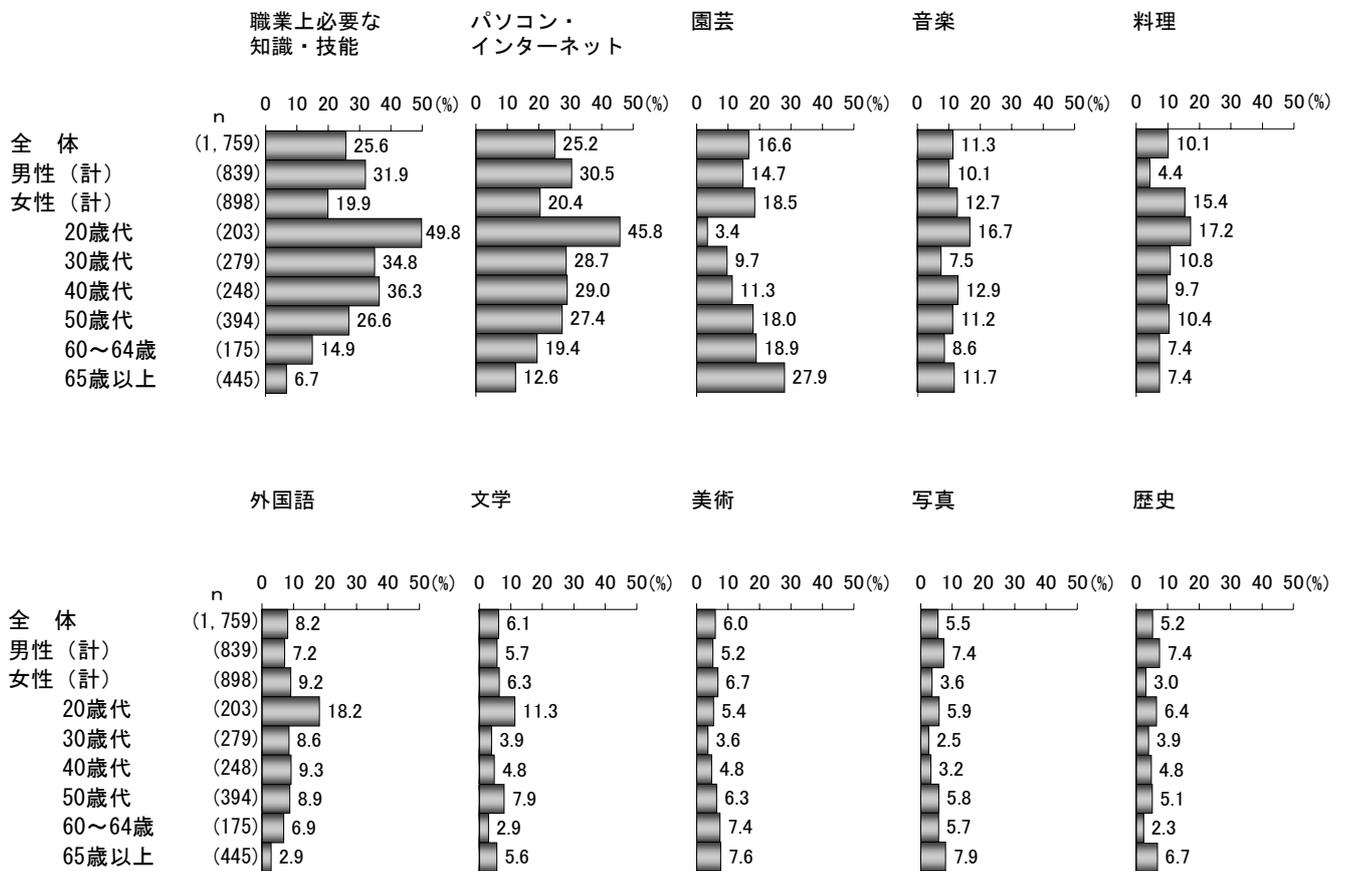
(図6-14-1)

上位 10 項目を性別にみると、「職業上必要な知識・技能」で 12.0 ポイント、「パソコン・インターネット」で 10.1 ポイント、それぞれ男性の方が高く、「料理」で 11.0 ポイント女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「職業上必要な知識・技能」、「パソコン・インターネット」、「料理」、「外国語」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代で「職業上必要な知識・技能」は 5 割弱 (49.8%)、「パソコン・インターネット」は 4 割台半ば (45.8%) で高い。「園芸」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(図 6-14-2)

図 6-14-2 この 1 年間に取り組んだ学習活動—性別・年齢別(上位 10 項目)

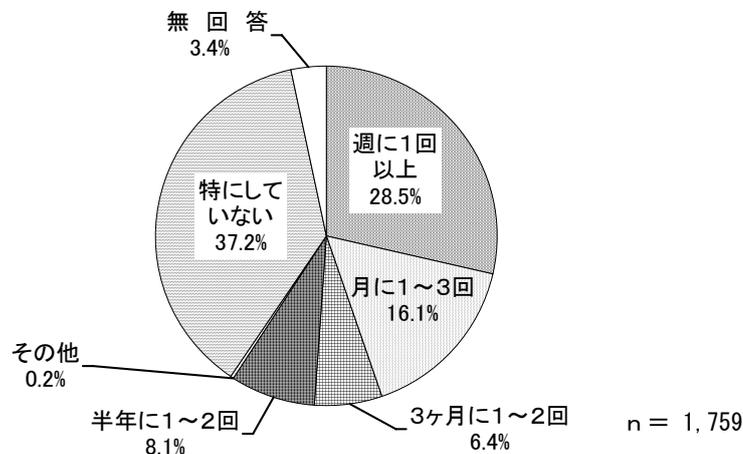


6-15 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に1回以上」が3割弱、「特にしていない」が4割弱

問29 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

図6-15-1



この1年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に1回以上」が3割弱(28.5%)、「月に1~3回」が1割台半ば(16.1%)、「3ヶ月に1~2回」(6.4%)、「半年に1~2回」(8.1%)が1割未満となっている。一方で「特にしていない」は4割弱(37.2%)となっている。(図6-15-1)

性別にみると、「特にしていない」は女性の方が8.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週1回以上」は60~64歳、65歳以上で3割台半ばと高くなっている。

(図6-15-2)

居住地域別にみると、「特にしていない」は加住・石川(北部地域)で4割台半ばを超え(46.1%)高くなっている。(図6-15-3)

図6-15-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別

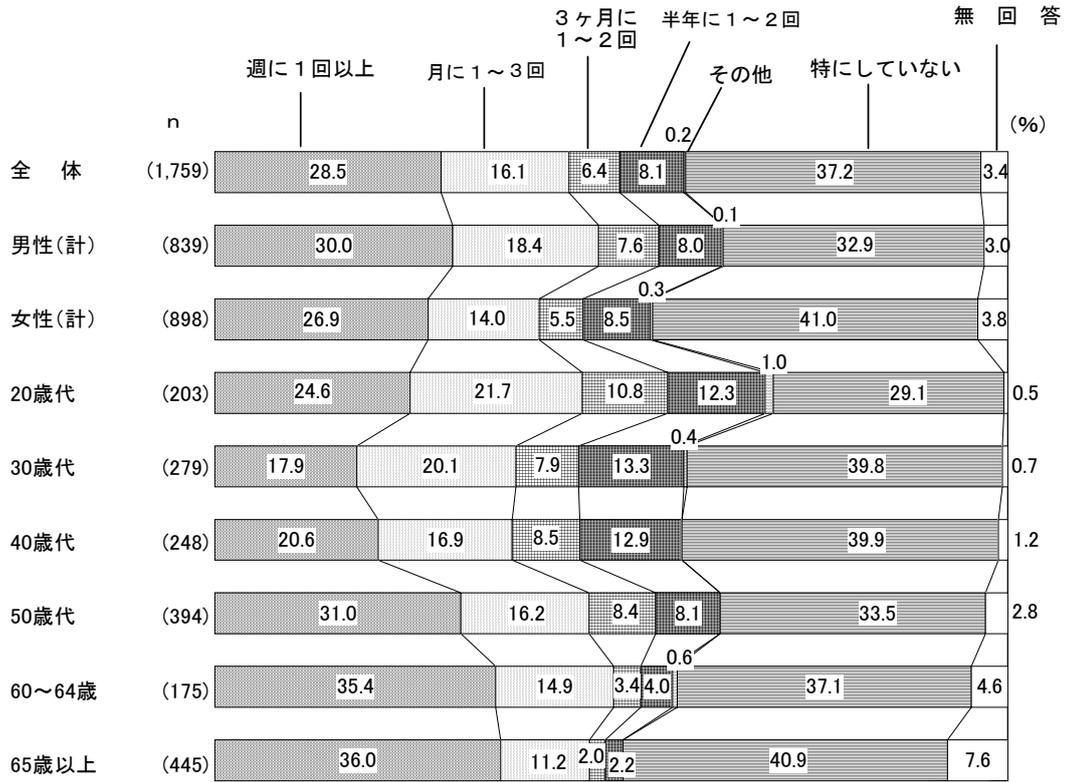
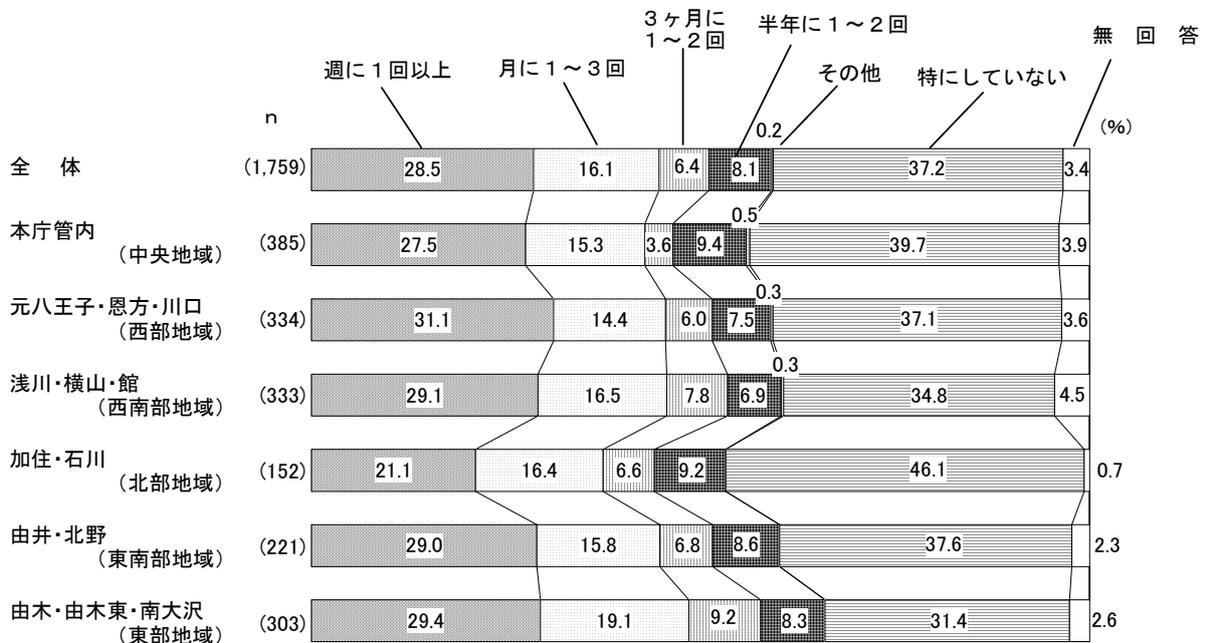


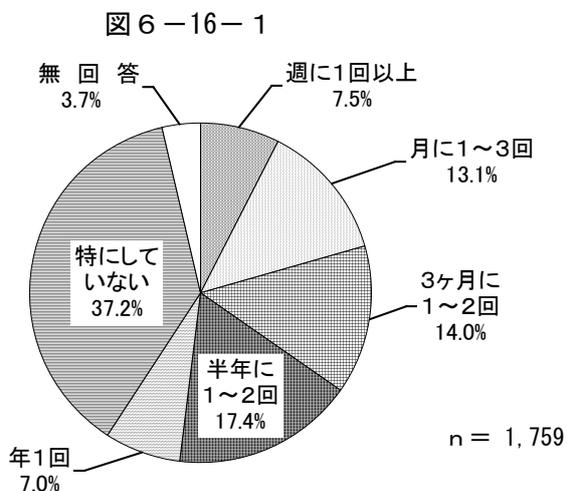
図6-15-3 この1年間に行ったスポーツの頻度－居住地域別



6-16 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「半年に1～2回」が2割弱、「特にしていない」が4割弱

問 30 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)



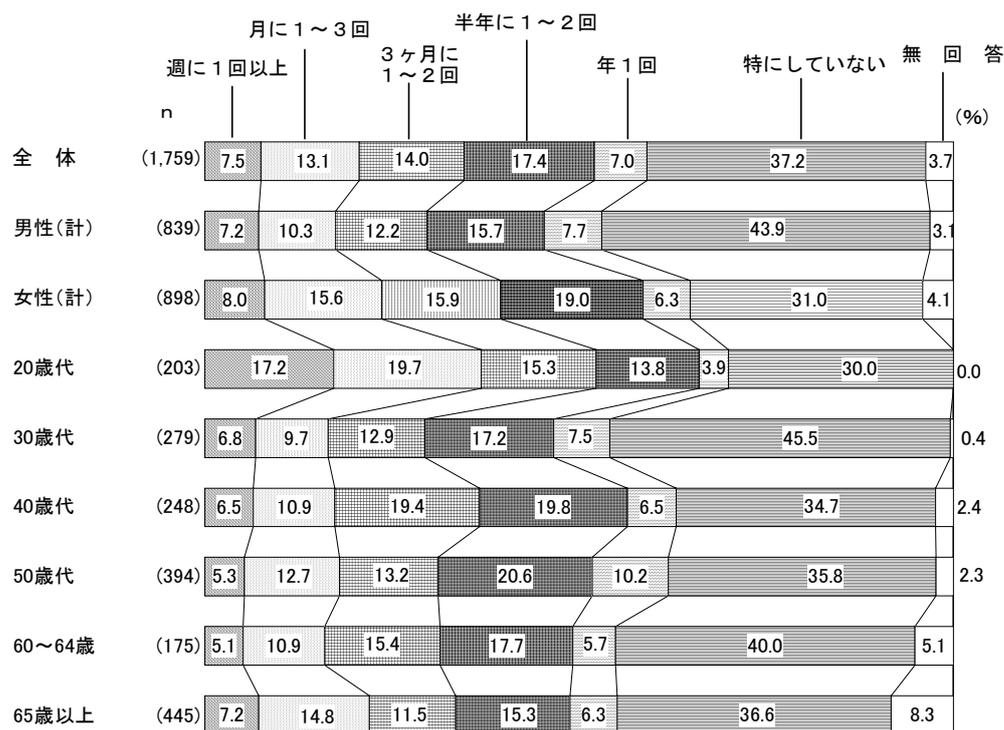
この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割未満(7.5%)、「月に1～3回」が1割強(13.1%)、「3ヶ月に1～2回」が1割台半ば(14.0%)、「半年に1～2回」が2割弱(17.4%)となっている。一方で「特にしていない」は4割弱(37.2%)となっている。

(図 6-16-1)

性別にみると、「特にしていない」は男性の方が12.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回以上」は20歳代で割合が高く、それぞれ2割弱となっている。(図 6-16-2)

図 6-16-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度—性別・年齢別

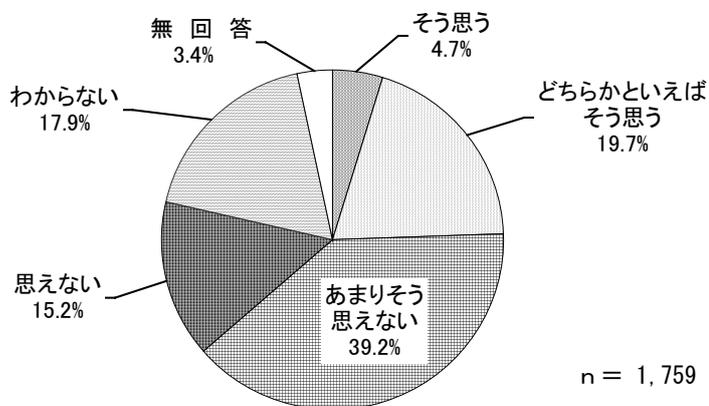


6-17 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割台半ば、『そう思う』が2割台半ば

問31 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-17-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱(39.2%)と最も多く、「思えない」(15.2%)と合わせた『思えない』は5割台半ば(54.4%)となっている。一方、「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(19.7%)を合わせた『そう思う』は2割台半ば(24.4%)となっている。また、「わからない」が2割近く(17.9%)となっている。(図6-17-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『そう思う』は65歳以上が3割弱(28.7%)と最も高く、『思えない』は50歳代が約6割(60.7%)で高くなっている。(図6-17-2)

居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢(東部地域)で3割台半ば(35.0%)と高い。また、『そう思えない』は加住・石川(北部地域)で6割台半ば(65.8%)と高くなっている。

(図6-17-3)

図6-17-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別

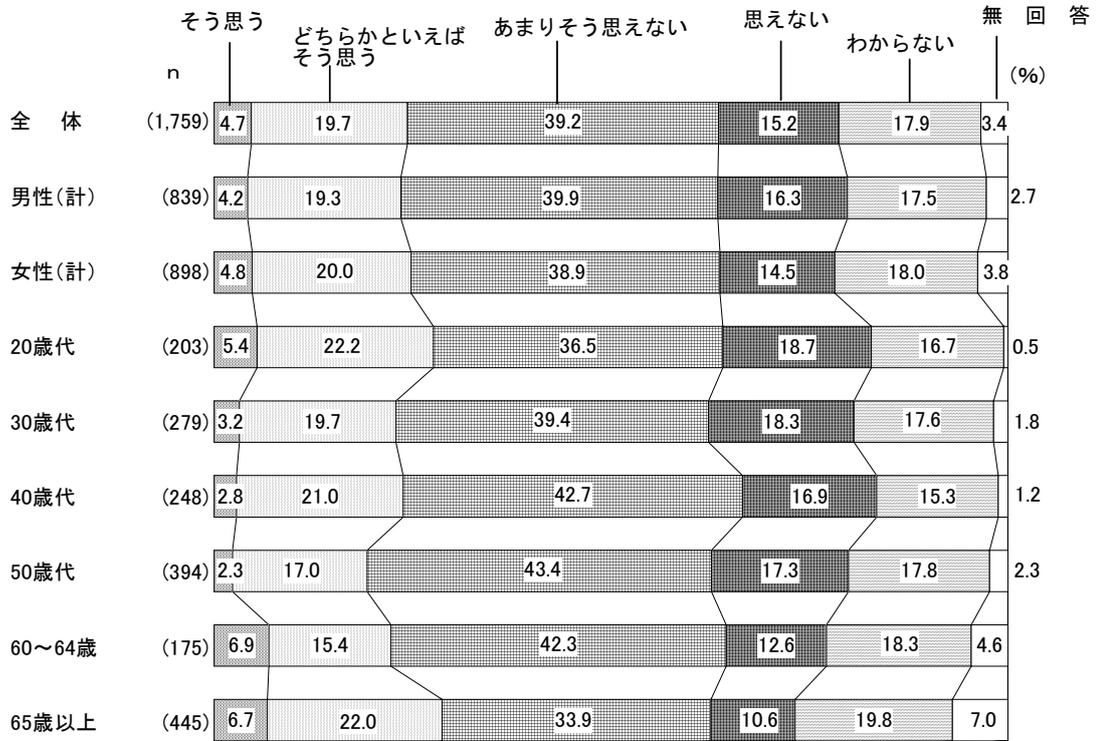
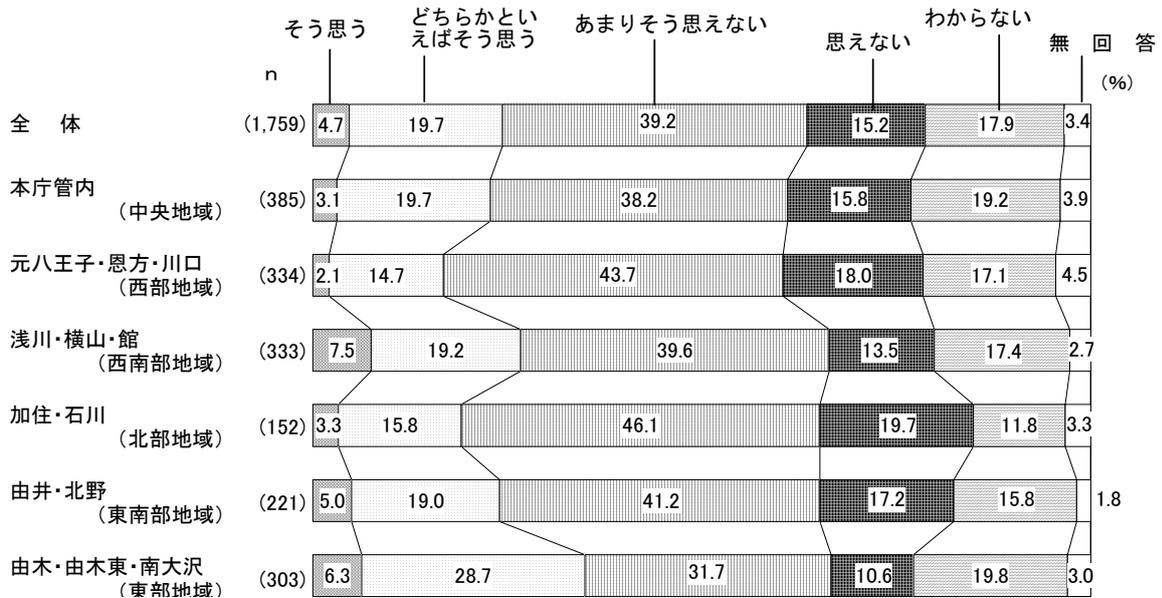


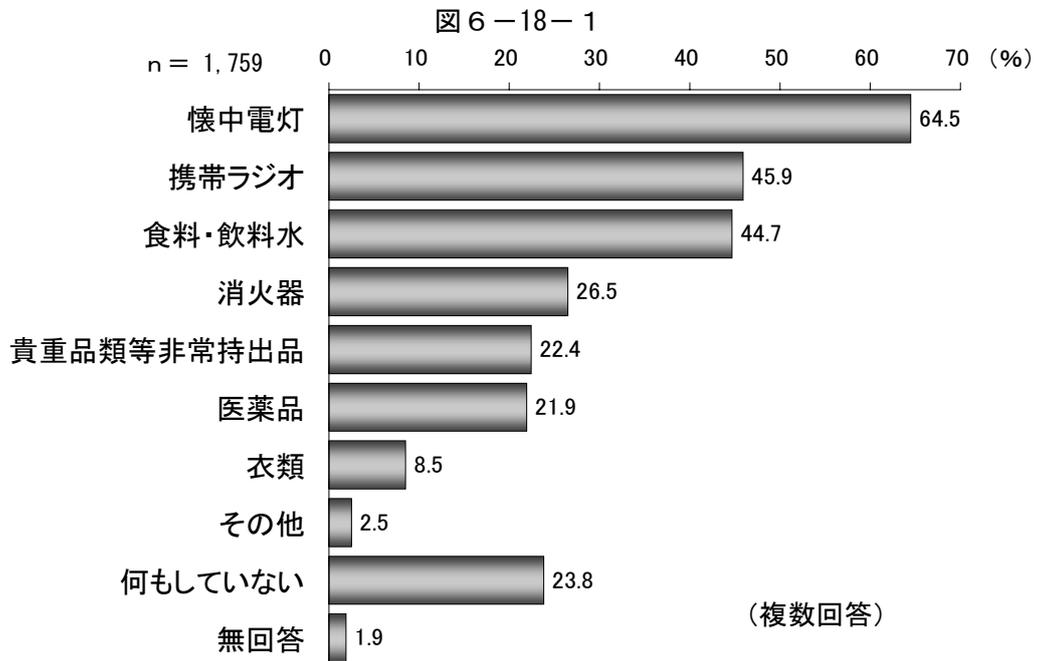
図6-17-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



6-18 災害に対する準備

◇「懐中電灯」が6割台半ばと突出している

問32 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
(○はいくつでも)

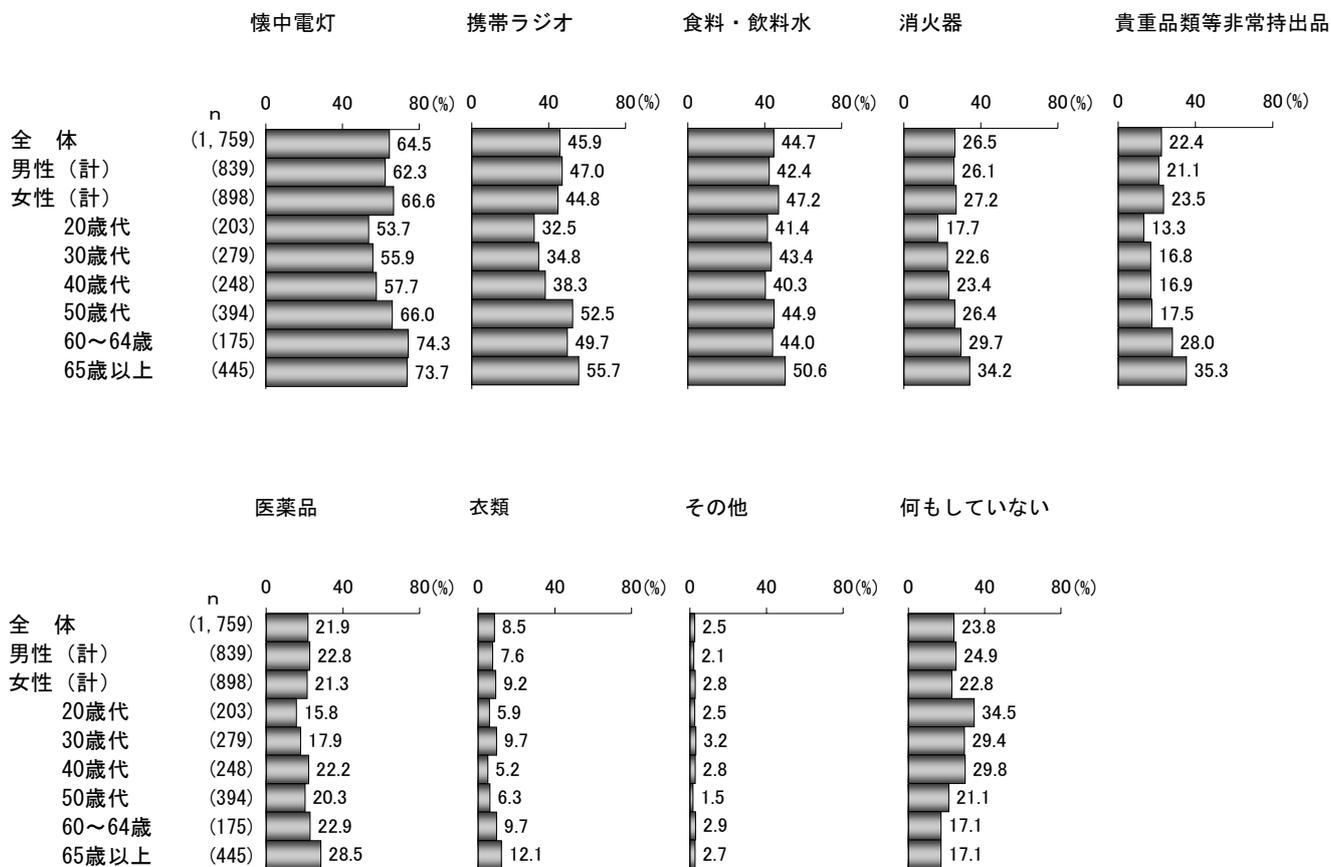


大地震等の災害に備えた準備についてきいたところ、「懐中電灯」が6割台半ば(64.5%)と最も高く、ついで「携帯ラジオ」(45.9%)、「食料・飲料水」(44.7%)、「消火器」(26.5%)と続いている。一方、「何もしていない」は2割強(23.8%)となっている。(図6-18-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「消火器」、「貴重品類等非常持出品」「医薬品」は、高い年代ほど割合が高い傾向にある。「何もしていない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代は3割台半ば（34.5%）と高くなっている。（図6-18-2）

図6-18-2 災害に対する準備—性別・年齢別

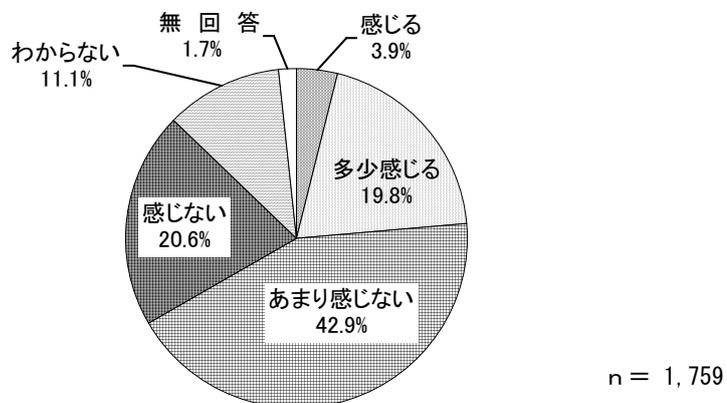


6-19 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割強

問33 あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

図6-19-1



市がにぎわいと活力があるまちであると感じるかについて聞いたところ、「あまり感じない」が4割強(42.9%)と最も高く、「感じない」(20.6%)と合わせた『感じない』は6割強(63.5%)である。「感じる」(3.9%)と「多少感じる」(19.8%)を合わせた『感じる』は2割強(23.7%)となっている。

(図6-19-1)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『感じない』は60～64歳代で高く、7割台半ば(74.9%)と高く、また50歳代でも7割強(71.3%)と高くなっている。(図6-19-2)

居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢(東部地域)で3割弱(28.4%)、浅川・横山・館(西南部地域)で2割台半ば(26.4%)と高くなっている。一方、『感じない』は加住・石川(北部地域)で7割強(73.7%)となっている。(図6-19-3)

図6-19-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別

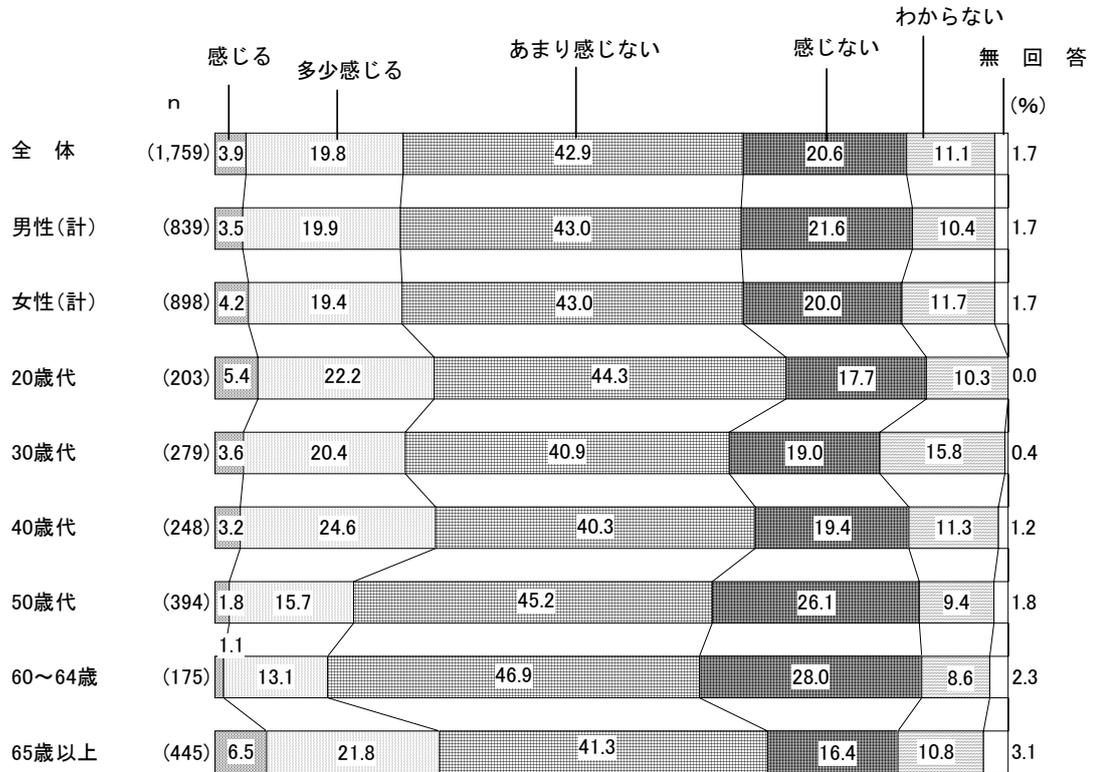
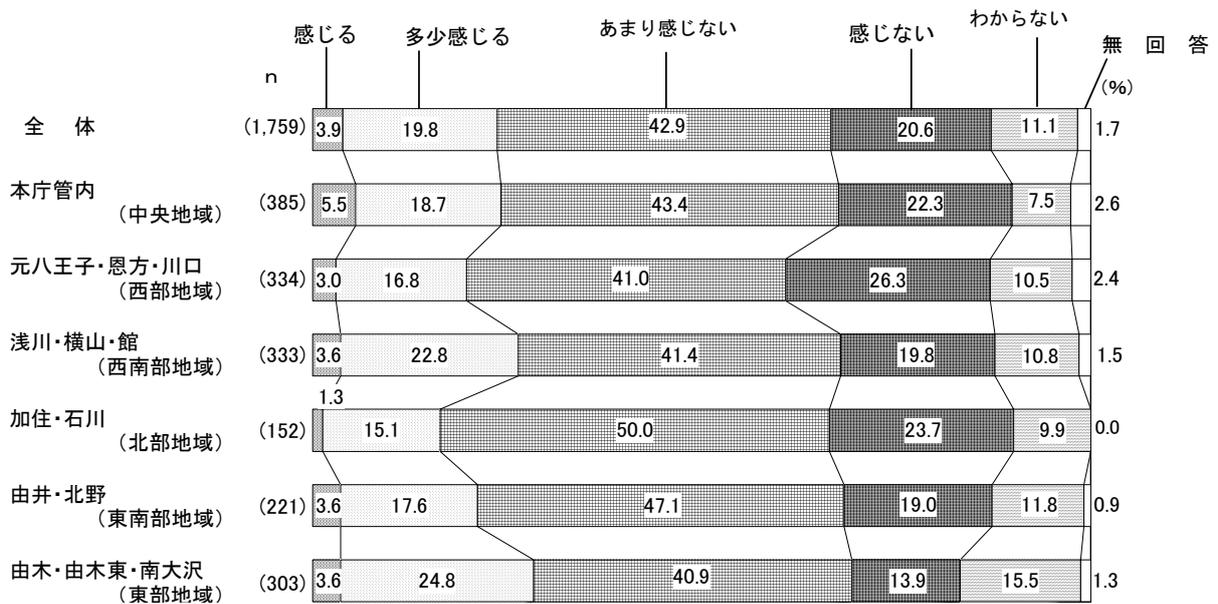


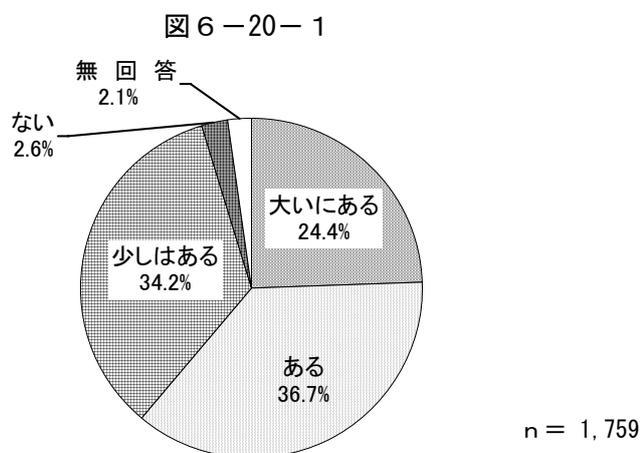
図6-19-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



6-20 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割を超える

問34 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

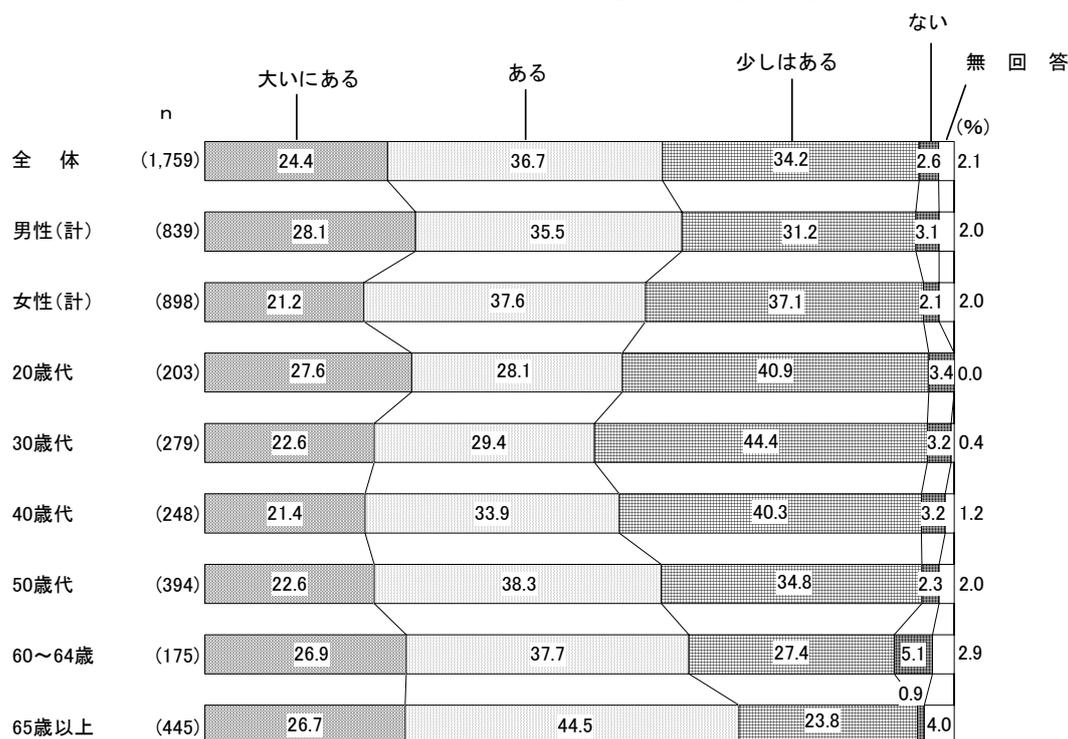


環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」が2割台半ば(24.4%)、「ある」(36.7%)と「少しはある」(34.2%)が3割台半ばとなっていて、三項目をあわせた『ある』は9割台半ば(95.3%)と高くなっている。一方で「ない」はわずか2.6%となっている。(図6-20-1)

性別にみると、『ある』は女性・男性ともに9割台半ばと高い。なお、「大いにある」は男性が6.9ポイント女性よりも高くなっている。

年齢別にみると、『ある』は高い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、65歳以上は9割台半ば(95.0%)と高くなっている。(図6-20-2)

図6-20-2 環境問題への関心度—性別・年齢別

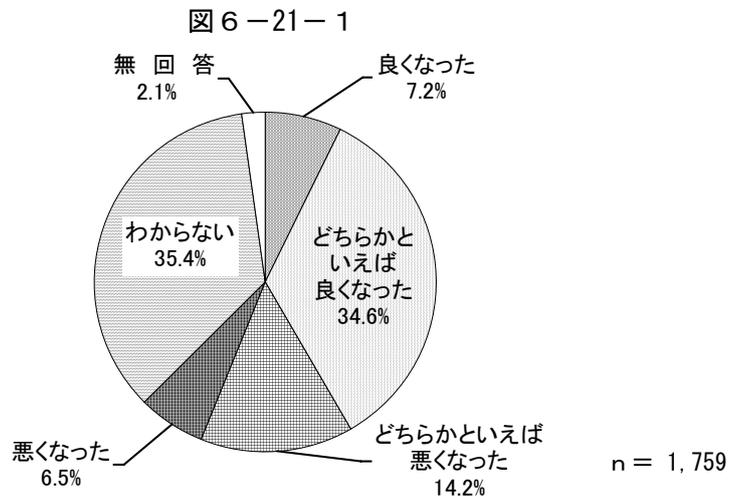


6-21 市の現在の環境

◇『良くなった』が4割強

問35 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べてどうなったと感じていますか。

（○は1つだけ）



市の環境が以前と比べてどう感じたのかを聞いたところ、「良くなった」（7.2%）と「どちらかといえば良くなった」（34.6%）を合わせた『良くなった』は4割強（41.8%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（14.2%）と「悪くなった」（6.5%）を合わせた『悪くなった』は2割強（20.7%）となっている。（図 6-21-1）

性別にみると、『良くなった』は女性で3.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65歳以上の年代で6割以上（61.8%）を占め、高くなっている。（図 6-21-2）

居住地域別にみると、『良くなった』は本庁管内（中央地域）、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）で4割台半ばを超え、高くなっている。（図 6-21-3）

図6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別

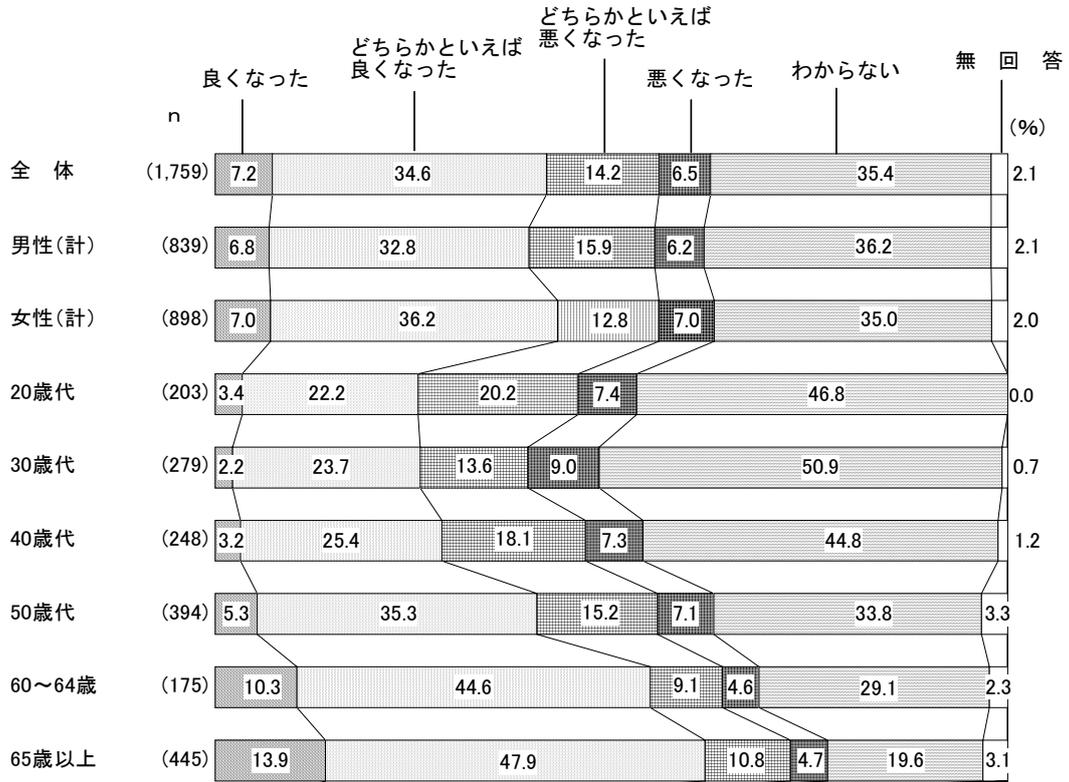
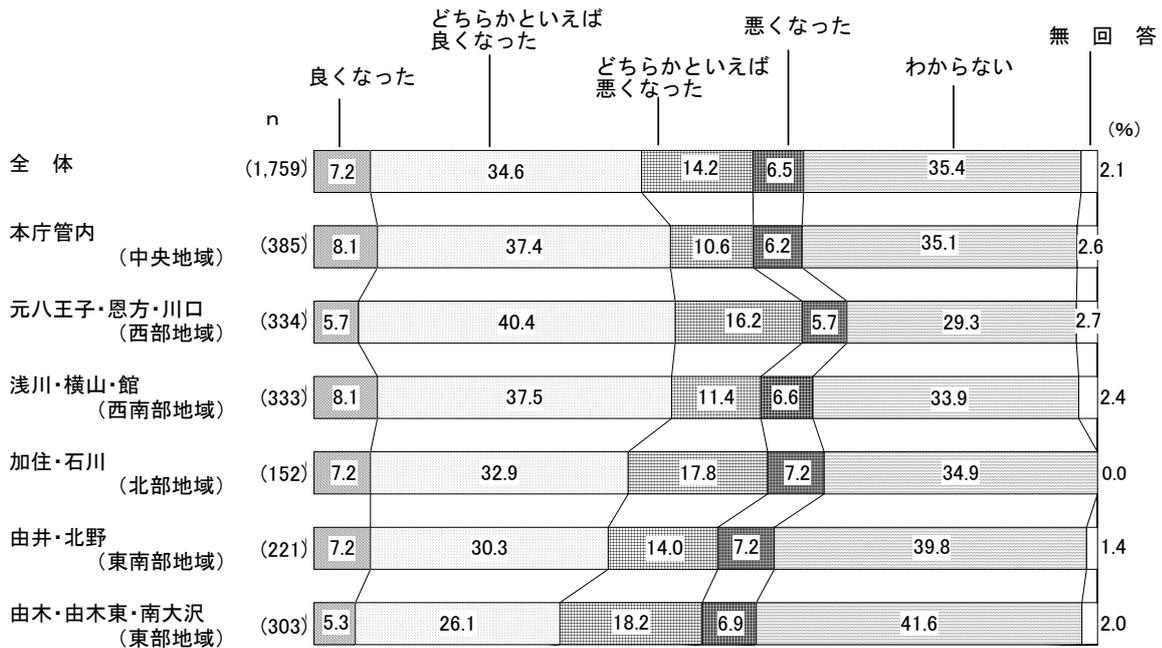
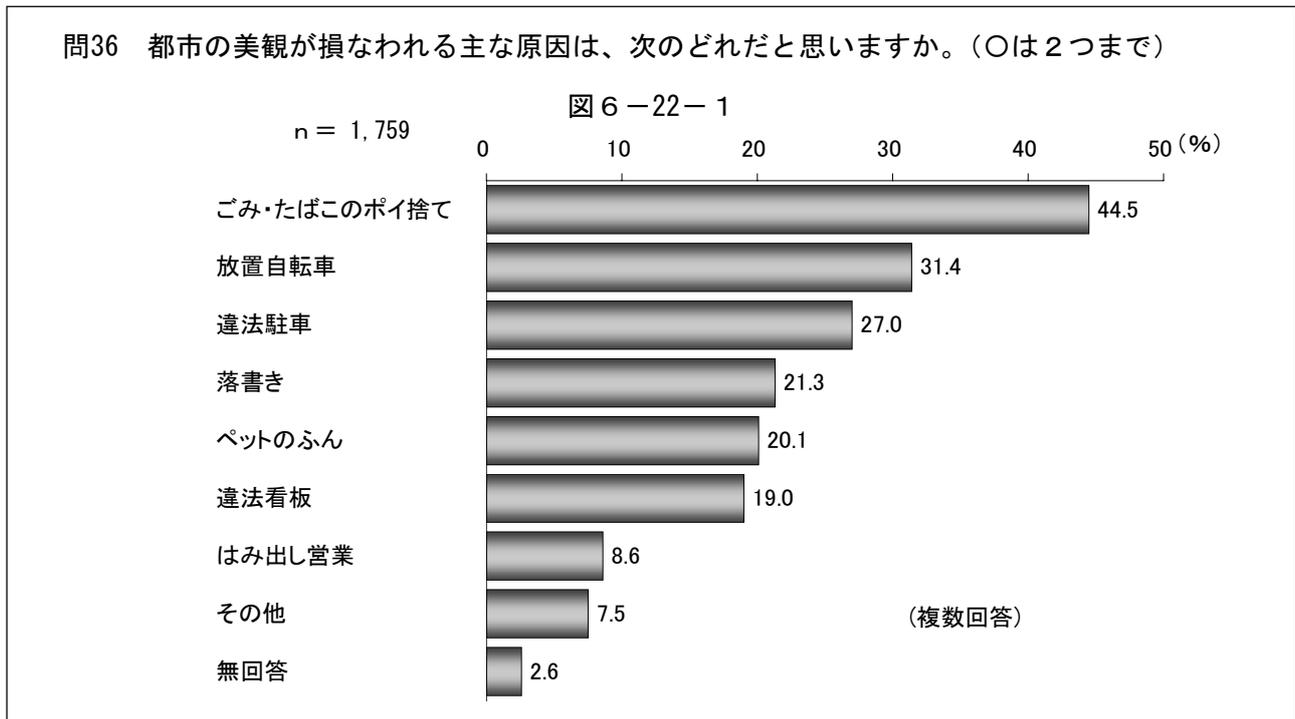


図6-21-3 市の現在の環境—居住別地域



6-22 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が4割台半ば

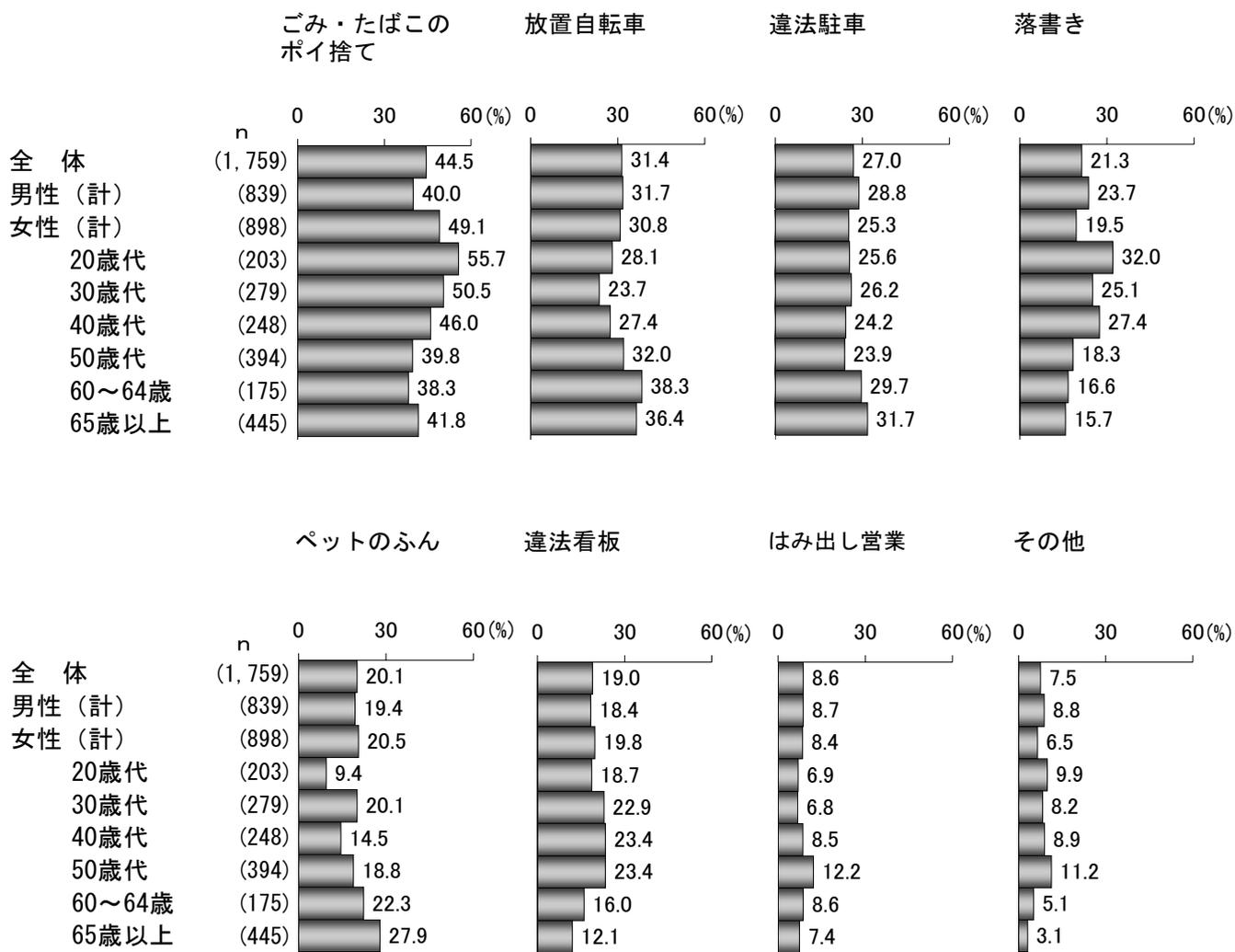


都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が4割台半ば(44.5%)と最も多く、ついで「放置自転車」(31.4%)、「違法駐車」(27.0%)、「落書き」(21.3%)と続いている。(図6-22-1)

性別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」で女性の方が9.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20歳代では5割台半ば（55.7%）と高くなっている。（図6-22-2）

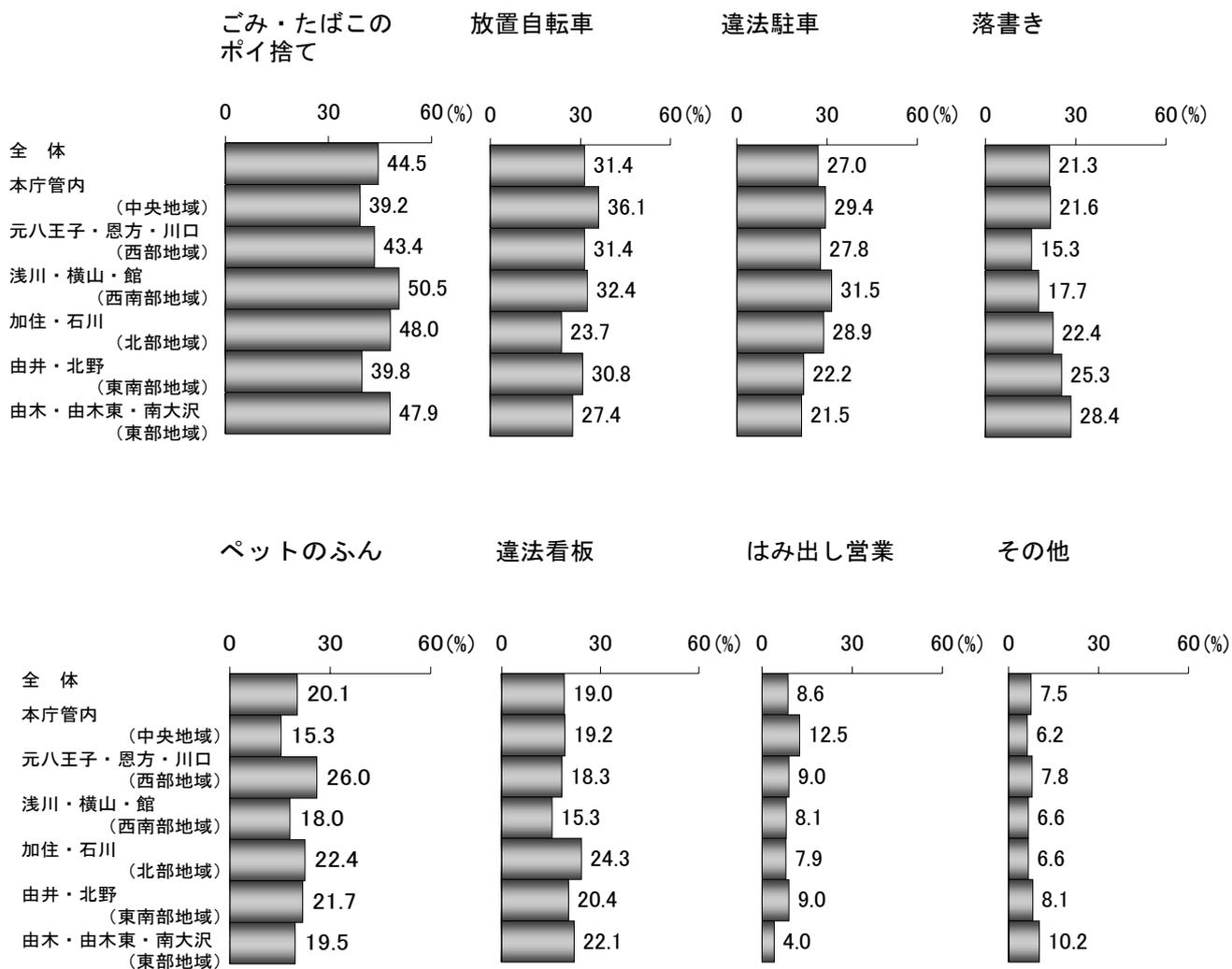
図6-22-2 都市の美観が損なわれる原因—性別・年齢別



居住地域別でみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は浅川・横山・館(西南部地域)でほぼ5割(50.5%)と高くなっている。「放置自転車」は本庁管内(中央地域)で3割台半ば(36.1%)と高くなっている。また、「ペットのふん」は元八王子・恩方・川口(西部地域)で2割台半ば(26.0%)となっている。

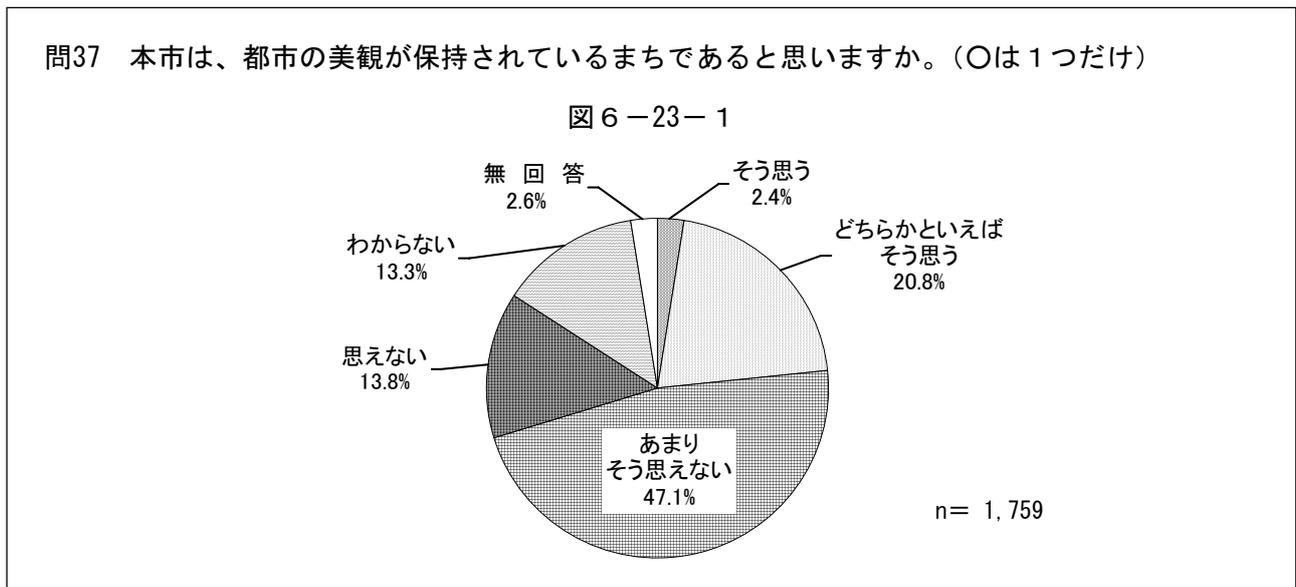
(図6-22-3)

図6-22-3 都市の美観が損なわれる原因—居住地域別



6-23 市は、美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が6割強



市は美観が保持されたまちだと思うかどうかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が5割弱（47.1%）と最も高く、「思えない」（13.8%）と合わせた『思えない』が6割（60.9%）となっている。

（図6-23-1）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『思えない』は65歳以上のみ5割台半ば（56.2%）で、他の年代はすべて6割以上となっている。（図6-23-2）

居住地域別にみると、『思えない』はいずれの地域でも5割以上と高く、特に加住・石川（北部地域）で7割を超え（72.3%）高くなっている。なお、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割強（32.3%）と比較的高くなっている。（図6-23-3）

図6-23-2 市は、美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別

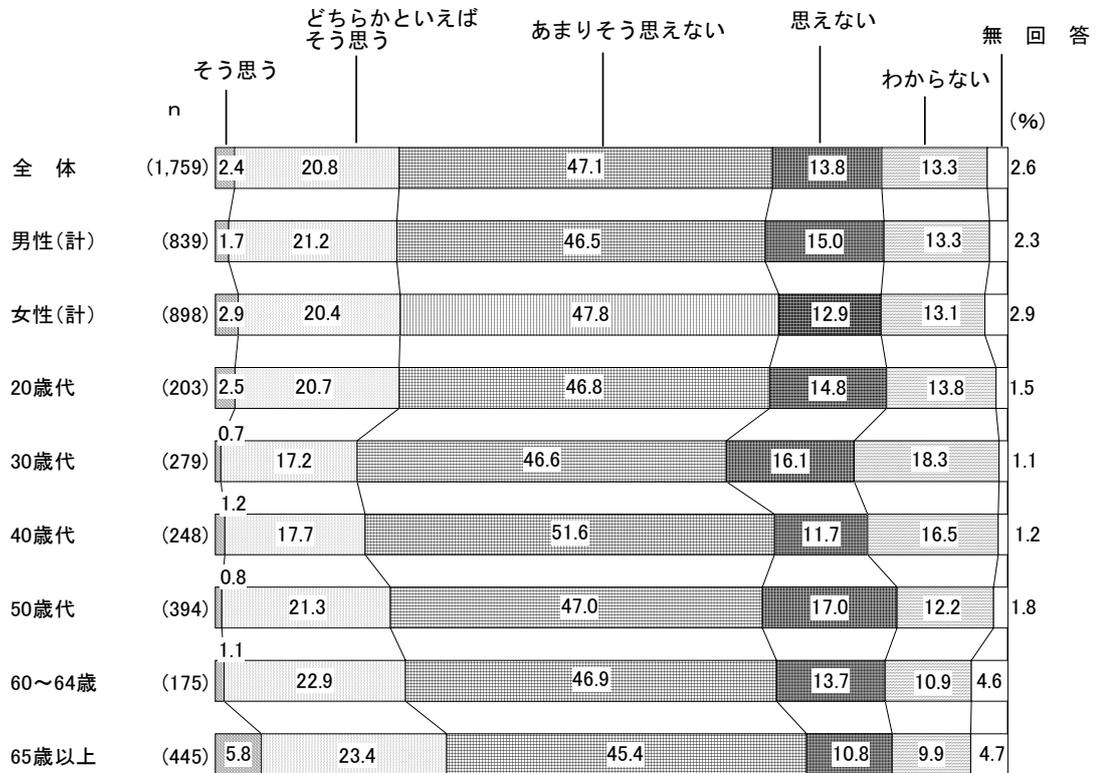
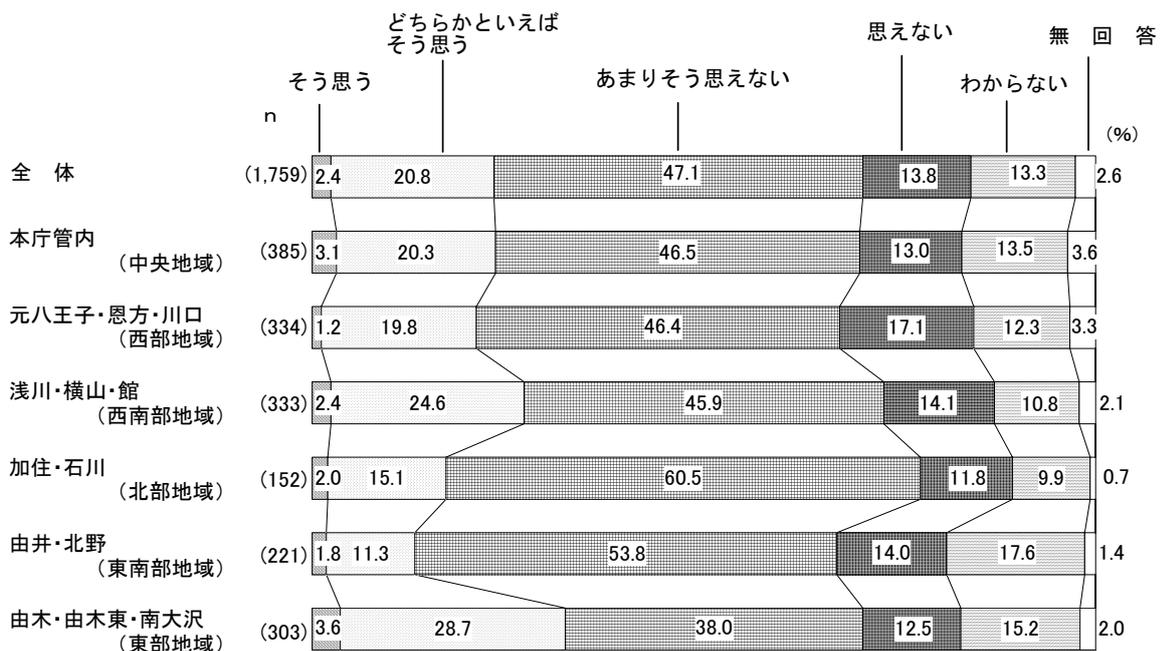


図6-23-3 市は、美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別

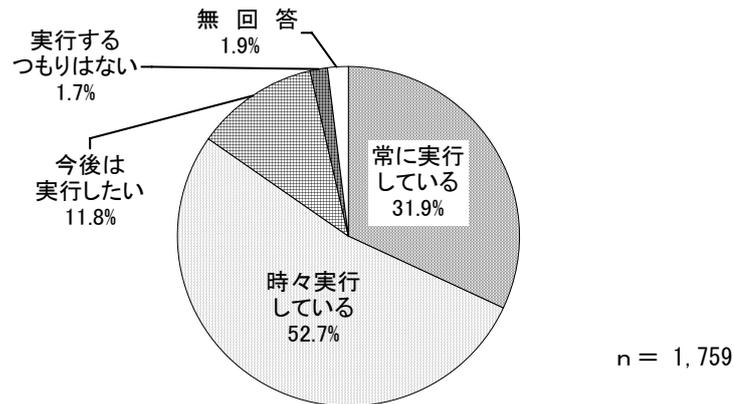


6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が8割台半ばと多数を占める

問 38 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図 6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「常に行っている」が3割強(31.9%)、「時々実行している」が5割を超え(52.6%)、両者をあわせた『実行している』は8割台半ば(84.5%)と高くなっている。(図6-24-1)

性別にみると、「常に行っている」は女性の方が10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「常に行っている」は20歳代では2割台半ば(25.6%)だが、65歳以上では4割強(43.1%)となり、高い年代ほど割合が高い傾向にある。(図6-24-2)

図 6-24-2 省エネ・省資源を実行しているか—性別・年齢別

